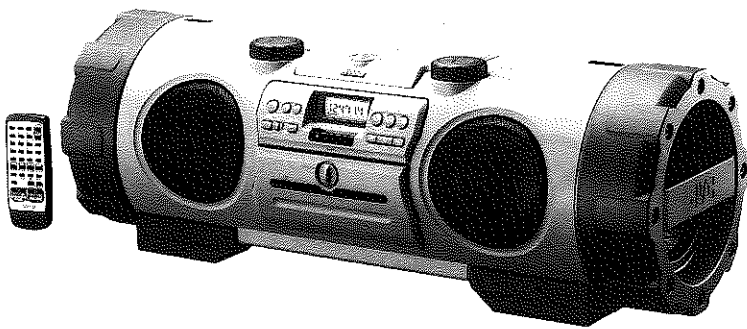


パワードウーハーCDシステム

型名 **RV-X70**



COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

—お買いあげありがとうございます—

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

も く じ ページ

お使いになる前に	
● 安全上のご注意	2
● 使用上のご注意	6
● ショルダーベルトの着脱	6
● 接続	7
● お使いになる前の準備	8
● 各部の名前	10
● リモコンの使いかた	12
● 電源の入/切について	13
● 音量・音質の調節	14
聞 く	
● CDを聞く	16
・ 全部の曲の演奏	16
・ 聞きたい曲から演奏 <small>(リモコンを)</small>	18
・ プログラムして演奏 <small>(リモコンを)</small>	18
・ リPEAT演奏/ランダム演奏 <small>(リモコンを)</small>	19
● テープを聞く	20
● 他の機器の音を聞く	21
● 放送を聞く	22
・ オート選局/マニュアル選局	22
・ 市外局番で放送局をメモリー <small>(リモコンを)</small>	23
・ 放送局のメモリーを追加する <small>(リモコンを)</small>	26
● マイクミキシングをする	27
録 る	
● 録音する	28
・ CDの録音(シンクロ録音)	28
・ 放送や他の機器の音を録音	30
時計・タイマー	
● 時計の合わせかた <small>(リモコンを)</small>	31
● タイマーの使いかた	32
・ タイマー再生	32
・ タイマー予約のしかた <small>(リモコンを)</small>	33
・ タイマー録音	34
● おやすみタイマーの使いかた	35
知っておいてほしいこと	
● お手入れ	36
● こんなときは	37
● 保証とアフターサービス	38
● ビクターサービス窓口案内	39
● 主な仕様	裏表紙

お 使 い に な る 前 に
聞 く
録 る
時 計 ・ タイ マ ー
ほ 知 っ て お い て

安全上のご注意 —はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

警告

- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



感電

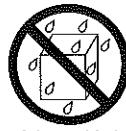
行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水濡れ禁止

行為を指示する記号



一般的指示



電源プラグを抜く

警告

異常時の注意

- 万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない。火災や感電の原因となります。



電源プラグを抜く

- ・ 煙が出ている、へんなにおいがするなど異常のとき
- ・ 内部に水や金属物が入ってしまったとき
- ・ 落したり、キャビネットが破損したとき
- ・ 電源コードが傷んだとき（芯線の露出、断線など）

このようなときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、販売店に修理を依頼してください。お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

電源コードについて

- 電源プラグの差し込みが不完全な状態で使わない



- ・ 接触不良により発熱し、火災や感電の原因となります。
- ・ たこ足配線も、コードが熱をもち危険ですのでしないでください。

- 電源コードを加工したり、無理な力を加えたりしない。また家具などの重い物をのせない



- ・ コードが傷つき、火災や感電の原因となります。
- ・ 芯線が露出するなど、コードが傷んだ場合は、使用を中止し、販売店にご相談ください。

- 電源プラグにほこりや汚れがついた状態で使わない。また金属物を近づけたりしない



- ・ 電気がほこりや汚れ、金属物を伝わり、火災や感電の原因となります。
- ・ 半年に一度は、プラグをコンセントから抜いて点検し、プラグとコンセントの間にたまったほこりや汚れを取り除いてください。



警告

ご使用について

- 電源は交流(AC)100V、単1形乾電池10本、または自動車電源(DC12V)を使う



・この機器を使用できるのは日本国内のみです。自動車や船舶などの直流(DC)電源に直接つないだり、指定外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因となります。

This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

- 機器の上に、液体の入った容器や小さな金属物をおかない



・液体が内部に入った場合は、電気が液体や金属部を伝わり、火災や感電の原因となります。

- 機器内部(ウーハー用ダクトなど)に金属物や燃えやすいものを入れない



・火災や感電の原因となります。
・特にお子様にはご注意ください。

- ネジをはずしたり、分解、改造したりしない



分解禁止

・内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
・内部の点検や修理などは、販売店にご依頼ください。

- 水をかけたり濡らしたりしない



・機器を水がかかる場所で使用したり、水に濡らす(つける、かける、こぼす)などして使用すると漏電によって火災や感電の原因となります。

- 風呂、シャワー室では使用しない



水場での使用禁止

・風呂場やシャワー室では使用しないでください。漏電によって火災や感電の原因となります。

- 濡れた手でさわらない



・機器を濡れた手で扱うと感電の原因となります。

- 自動車などの運転中は、絶対にヘッドホンを使用しない



・交通事故の原因となります。
・走行中は、本機を使用しないでください。

- 歩行中にヘッドホンを使うときは、周囲の交通に十分注意する



・交通事故の原因となります。特に交差点や踏切では注意してください。

- 屋外で使用中、雷が鳴り出したらすぐに使用をやめる



・アンテナをたたんで、機器から離れてください。落雷の原因となります。

乾電池について

- 乾電池は正しく取り扱う



・乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災やけがの原因となります。

お使いになる前に

安全上のご注意(つづき) —はじめにお読みください—

注意

電源コードについて

■電源プラグの抜き差しはプラグを持つ



・コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

■濡れた手で電源プラグを抜き差ししない



・感電する恐れがあります。

■熱器具に近づけない



・コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となることがあります。

設置・接続について

■湯煙や湯気の当たるところや湿気・ほこりの多いところに置かない



・電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因となることがあります。

■異常に温度が高くなる場所に置かない



・機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因となることがあります。
・直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

■機器の上に大きいものや重いものは乗せない



・バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■不安定な場所に置かない



・機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■本機の置き方は



・あお向け、横倒し、逆さま、通風孔をふさいだり、風通しの悪い狭い所などに設置すると、通風孔がふさがれ内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

■テレビ等の電波を受信する機器のそばに置かない



・テレビ等の近くに置くと、受信に影響を及ぼすことがあります。このような場合は、本機を離してください。

■接続の前に接続する全ての機器の電源を「切」にしておく (電源プラグをコンセントから抜いておく)



・電源が「入」の状態で接続すると、突然大きな音が出て聴力障害の原因となることがあります。

乾電池について

■乾電池は正しく取り扱う



・極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)を間違えて入れると、電池の破裂や液もれにより、火災やけがや周囲を汚す原因となることがあります。

■指定以外の電池は使用しない



・新しい電池と一度使用した電池、使用期間の長い電池、種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。また、加熱、分解したり、火や水の中に入れてください。電池の破裂や液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

ご使用について

■電源を入れる前に、音量を絞る



- ・突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。
- ・電源を切る前に音量(ボリューム)を最小にしておいてください。

■ディスクやテープ挿入口には手をふれない



手を挟まれないよう注意

- ・閉まる時にはさまれてけがの原因となることがあります。
- ・特にお子様にはご注意ください。

■長期間使用しないときは、安全のため、電源プラグを抜いておく



電源プラグを抜く

- ・旅行などで長時間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■長期間(1か月以上)使用しないとき、またはいつもAC電源でお使いになるときは、乾電池を取り出しておく



- ・乾電池から液がもれて火災やけが、周囲を汚す原因となることがあります。
- ・万一、液がもれたときは、電池ケースに付いた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。
- ・また、もれた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

■ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない



- ・耳を刺激するような大きい音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

お手入れについて

■お手入れの前には、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

- ・電源を入れたままにしておくと、感電の原因となることがあります。

■機器内部の点検について



- ・2～3年に一度くらいは内部の清掃を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をせず使用し続けると火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、内部清掃の費用については販売店などにご相談ください。

持ち運びについて

■電源コードや他の接続コードを接続した状態で移動しない



- ・接続した状態で移動すると、コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。
- ・移動の際、引っ掛かったりしてけがの原因となることがあります。

■CDやテープを入れたまま移動しない



- ・CDやテープが破損したり、故障の原因となることがあります。
- ・アンテナはたたんでください。伸ばしたまま持ち運びしますと、アンテナが引っ掛かって折れたりして、けがの原因となることがあります。

■キャリングハンドルは左右を持って移動する

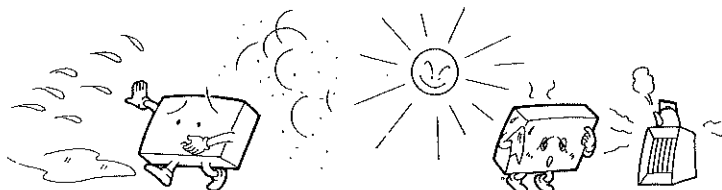


- ・片側だけ持つと本体を傷つける原因となります。

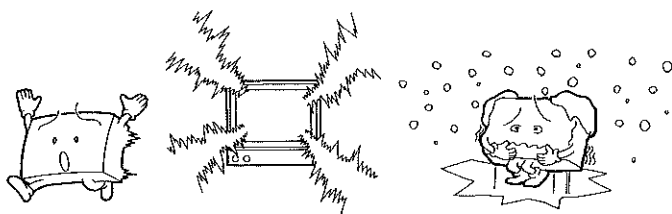
使用上のご注意

本機やテープ、CDの置き場所について

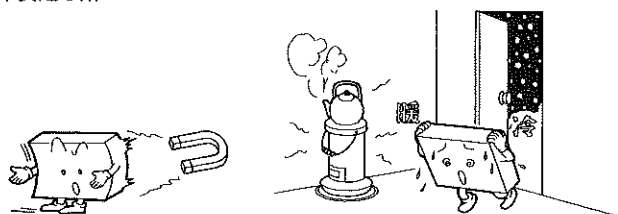
- 故障などを防止するため次の場所は避けてください。



- ・湿気やほこりの多い所
- ・直射日光が当たる所や暖房器のそば



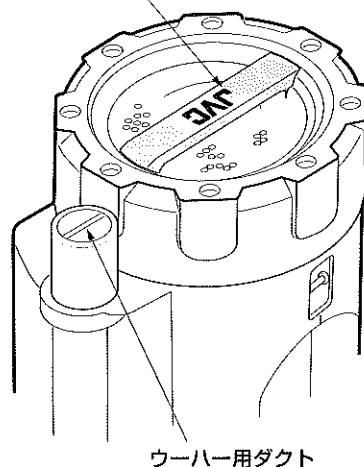
- ・アンブやテレビのすぐそば
- ・不安定な所
- ・極端に寒い所



- ・磁気を発生する所
- ・不安定な所
- ・寒い所から急に暖かい部屋へ移動したのちしばらくの間

キャリングハンドルについて

キャリングハンドル



ウーハー用ダクト

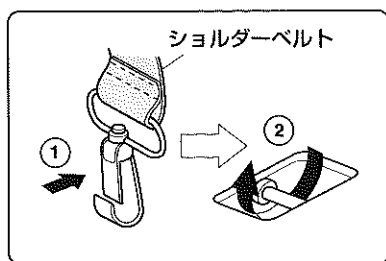
本機は両側面に持ち運び用のキャリングハンドルが付いています。これを片手で持つと、本体の幅が69cmありますので地面や他の物に当たって傷がつく原因となります。必ず左右のキャリングハンドルを持ってください。またウーハー用のダクトを持ったり、中に金属物を入れると故障の原因となります。



■ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

ショルダーベルトの着脱

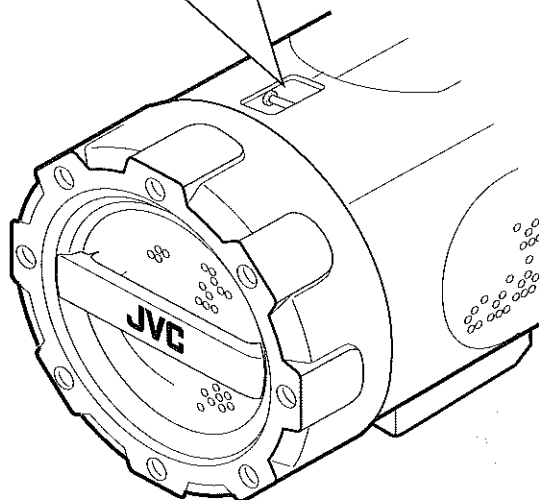


●ショルダーベルトの取り付けかた

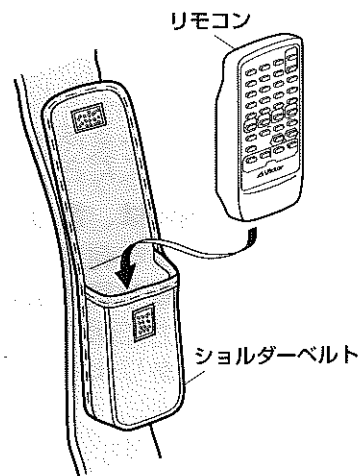
ショルダーベルトの金具の①の部分を押しながら、本体の取付金具に差し込みます。

●ショルダーベルトの外しかた

金具の①の部分を押しながらひねって外します。

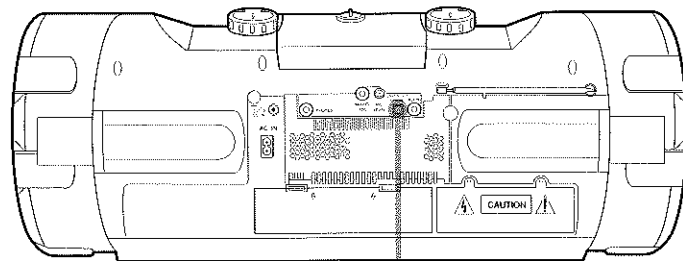


- ショルダーベルトにリモコンを入れておくことができます。



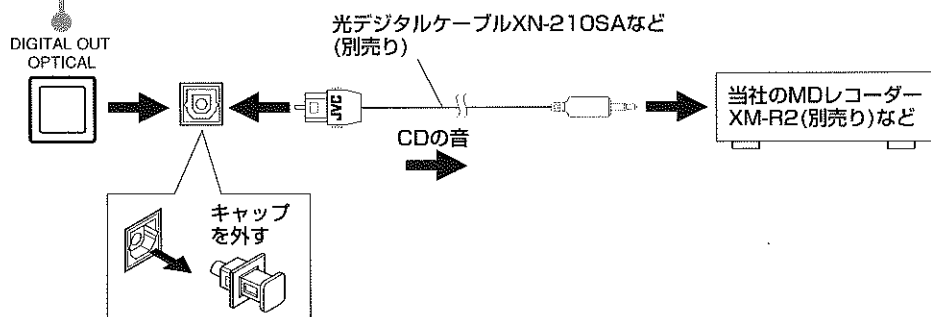
接続

—接続が終わるまで電源は入れないでください。—



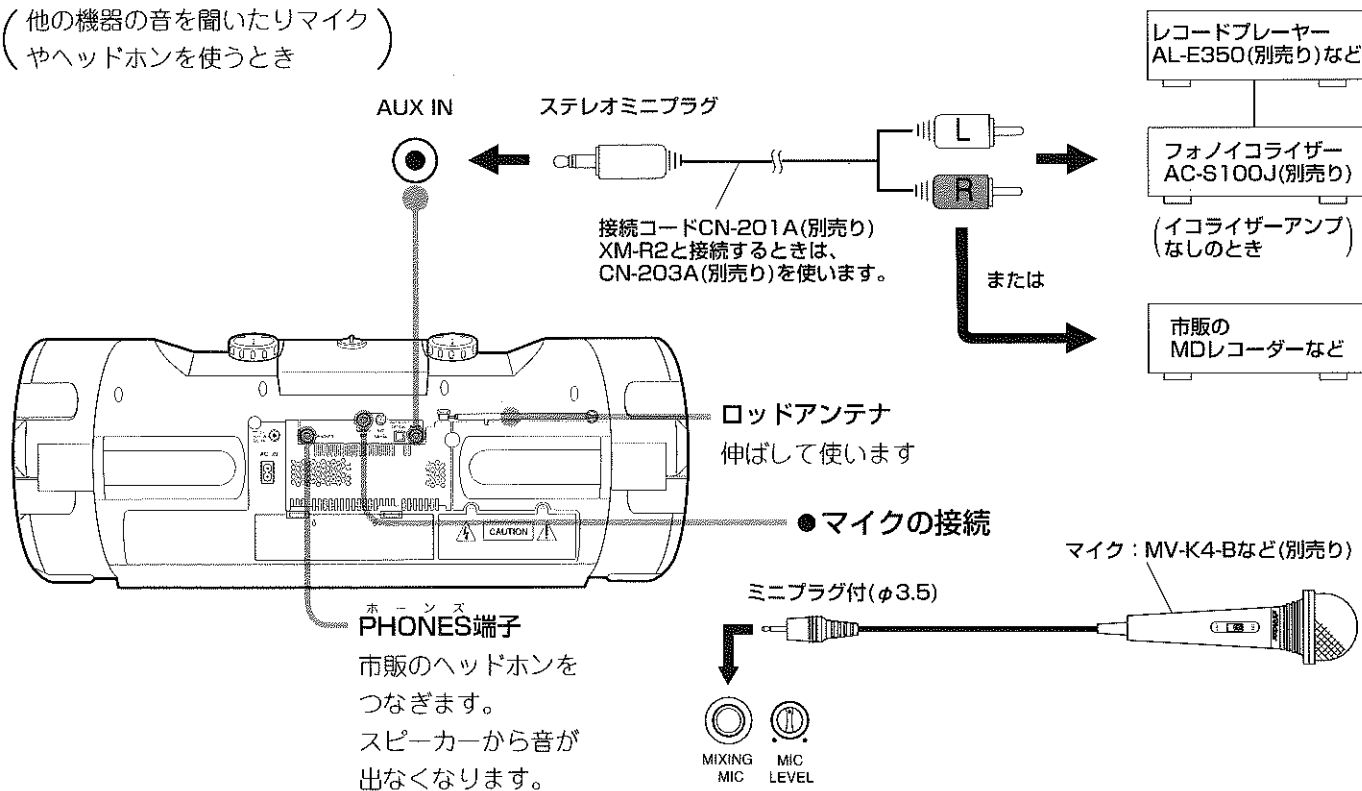
●デジタル接続

(CDの音をデジタル録音するとき)



●アナログ接続

(他の機器の音を聞いたりマイクやヘッドホンを使うとき)



お使いになる前に

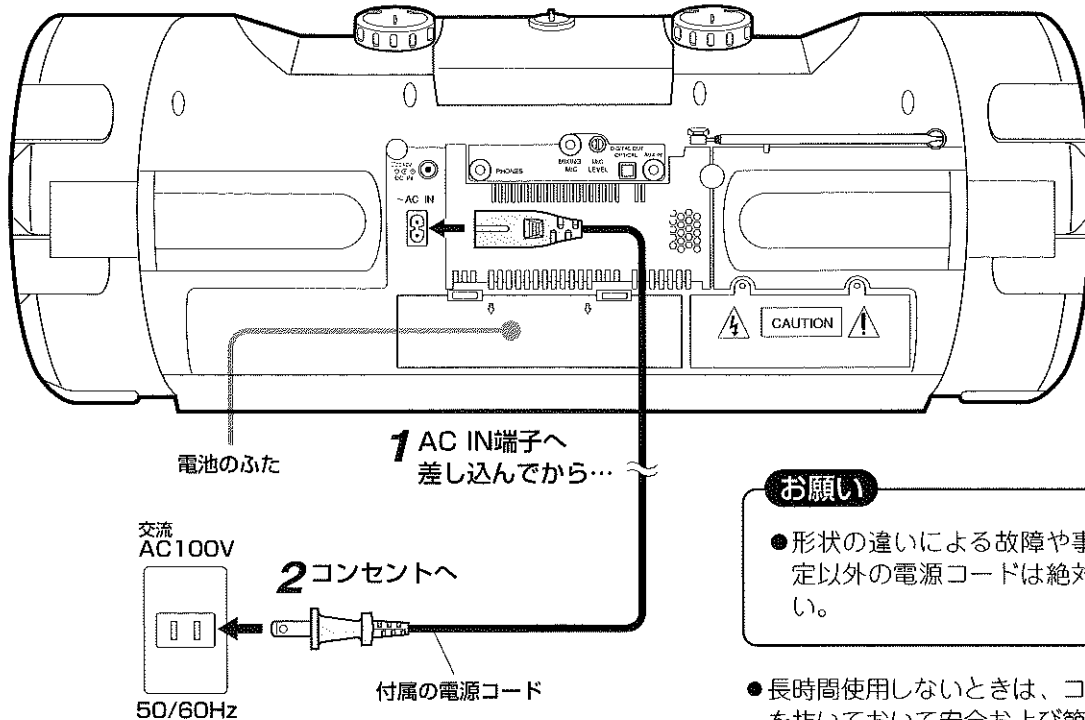
■DIGITAL OUT端子の赤い光について (ファンクションがCDのとき)
電源を入れると端子の内部が赤く光ります。この光はデジタル信号を送るための光です。目で見ても危険ではありませんが、使用しないときはキャップを外さないでください。

■本機をテレビの近くに設置すると、画面に色ムラを生じます。このようなときは、まず本機をテレビから離してください。それからテレビの電源を切り、15~30分後に再び電源を入れてください。テレビの自己消磁機能により画面への影響が改善されます。

お使いになる前の準備

—電源コードを抜き差ししたり、乾電池を出し入れするときは電源を切っておいてください。—

家庭用コンセントで使うには(AC電源)

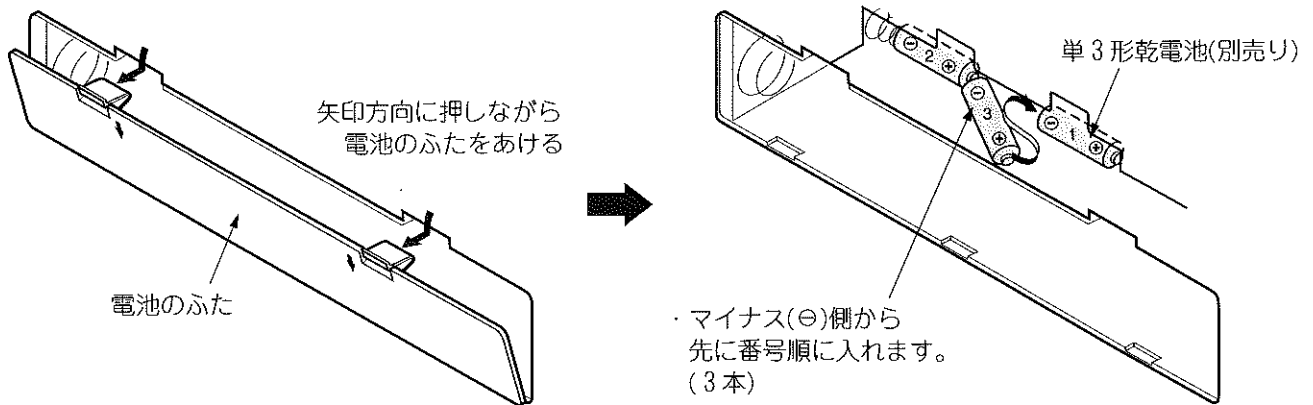


お願い

- 形状の違いによる故障や事故を防止するため、指定以外の電源コードは絶対に使用しないでください。
- 長時間使用しないときは、コンセントから電源コードを抜いておいて安全および節電に心がけてください。(電源が切れていても、電源コードが接続されていると約1.4Wの電力を消費します)
- 付属の電源コードは、本体に差し込むコネクタ一部分の形状が従来品とは異なります。電源コードを紛失したり電源コードが断線したときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

メモリー(記憶)用乾電池の入れかた

- 時計や放送局などのメモリーバックアップ用に単3乾電池が必要です。お使いになる前に必ず入れておいてください。

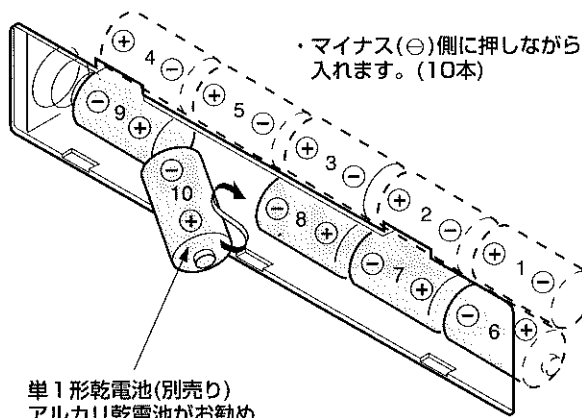


・取り出すときは、3の乾電池から外します。

■メモリー用乾電池は、電源コードを抜いておいたり単1形乾電池が入っていないとき単3形マンガン乾電池使用で約12か月お使いになれます。これ以外のときは消費されません。(メモリーバックアップ時は時刻表示は表示されません)
 ■メモリー用乾電池を交換するときは、メモリー保持のため家庭用コンセントに電源コードを接続してから行ってください。

乾電池で使うには

1 電池のふたをあげ、単1形乾電池10本を番号順に入れます



2 電池のふたを元どおりにしめます

・ふたの矢印部分を押ししてしめます。

●乾電池を交換する目安

乾電池が消耗してくると次のような症状が現われます。全部新しい乾電池と交換してください。

- 本体用：CDの演奏音が途切れたり、テープの再生音がふられる。
“DC OFF” が表示窓に表示され、約1分後に電源が切れます。
- メモリー用：電源コードを抜いたときメモリーが消える。

大切な録音をするときやCDの演奏をするときは、付属の電源コードでお使いになることをお勧めします。

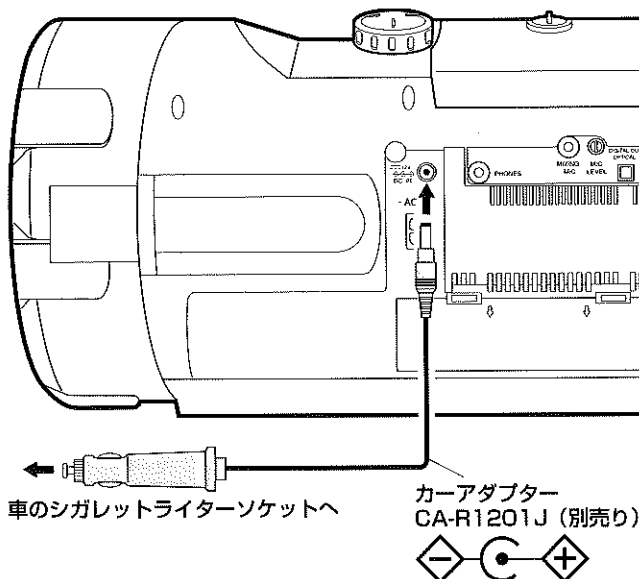
乾電池使用上のご注意

乾電池の誤った使い方は、「液もれ・破れつ」のおそれがあります。次のことは必ずお守りください。

- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖は、機器の表示通り正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使用した乾電池、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 長い間乾電池で使わないときは、本体から単1形乾電池を取り出しておいてください。

自動車用電源で使うには (DC12V)

- 別売りのカーアダプター(CA-R1201J)をDC12V端子につないで使います。



車で使用するときのご注意

- 交通安全のため、走行中は本機を使用しないでください。必ず安全なところに停車してお使いください。
- カーアダプターを使用すると、車のバッテリーを消費します。必ずエンジンをかけた状態でお使いください。
- 車で移動するときは、本機を箱などに入れ、安定した状態にして運んでください。
- カーアダプターCA-R1201JはDC12Vマイナスアース車専用です。大型バスなどの24V車には使用できません。
- 本機は、防水や防塵構造にはなっておりません。車内に放置すると、直射日光やホコリにより変形や故障の原因となります。

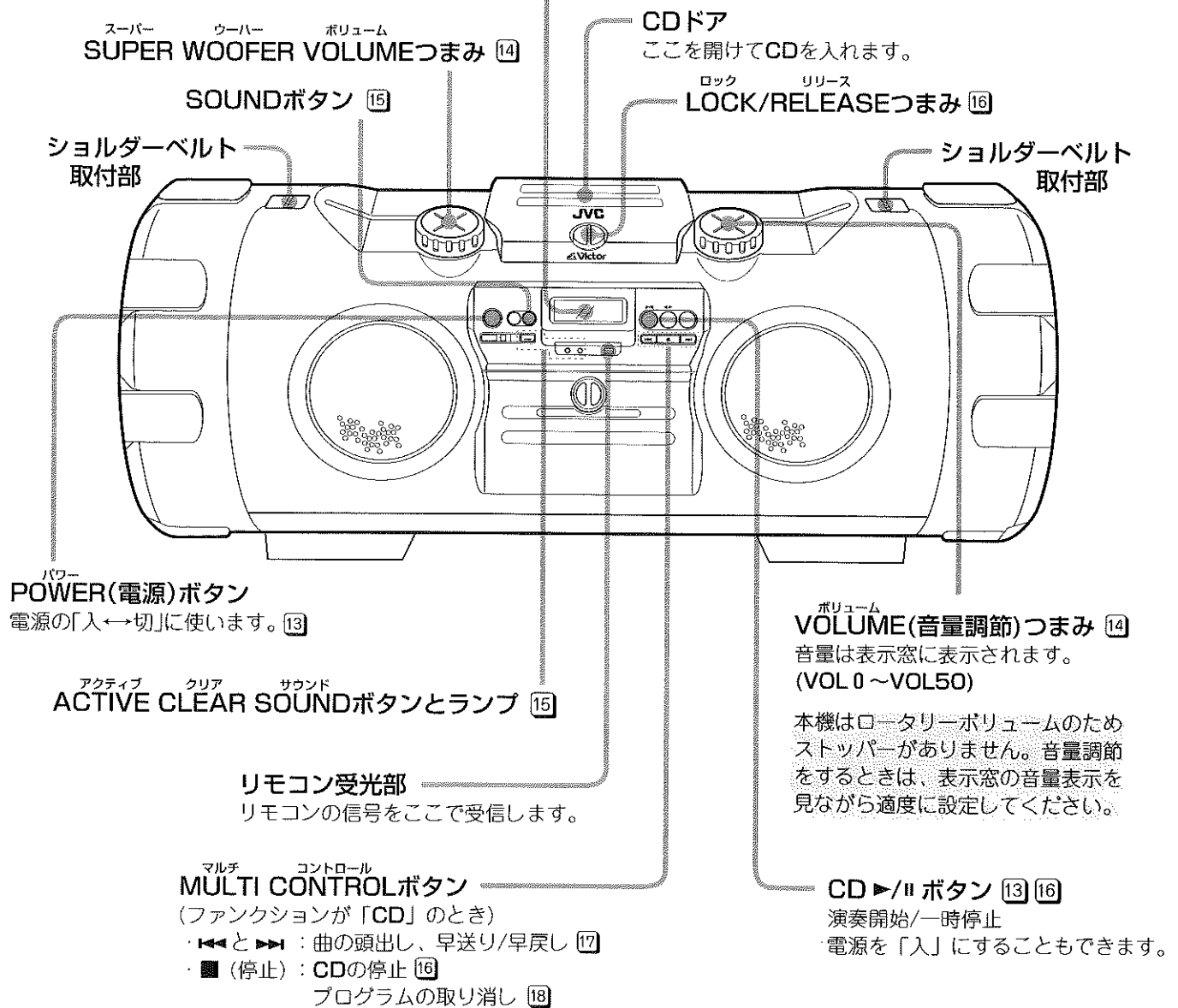
■乾電池でお使いになるときは、AC IN端子から電源コードを抜いておいてください。電源コードが接続されていると、乾電池では動作しません。
■乾電池の「液もれ」が起きたときは、もれた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。

■カーアダプターでお使いになるときは、AC IN端子から電源コードを抜いておいてください。
■CA-R1201Jは、EIA-J規格の極性統一形プラグ付のカーアダプターです。

各部の名前 —□内の数字のページに説明があります。—

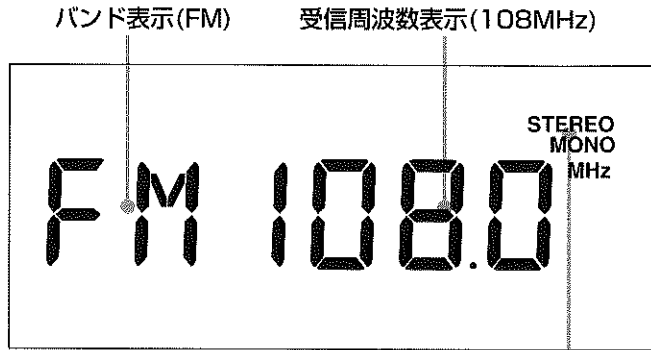
CD部・共通部

表示窓(CDのとき)

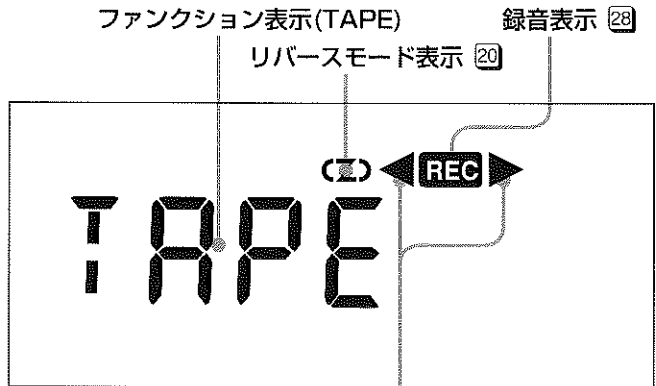


チューナー部・デッキ部

表示窓(TUNERのとき)



(TAPEのとき)



エーユーエックス

AUXボタン 13 21

プリセット チューニング

PRESET TUNINGボタン 23

AM放送を録音するときにも
ビート カット
使います(BEAT CUT)。30

テープ

TAPE ◀▶ ボタン 20

ファンクションを「TAPE」にしたり
テープの走行方向が変更されます。
電源を「入」にすることもできます。13

ワン タッチ レック
ONE TOUCH RECボタン 28

LOCK/RELEASEつまみ 20

- ・LOCK : カセットホルダーを固定するとき
- ・RELEASE : カセットホルダーを開けるとき

カセットホルダー
ここにカセットテープを
入れます。

チューナー
TUNER FM/AMボタン 22

ファンクションを「TUNER」にしたり
バンドが選べます。電源を「入」にする
こともできます。13

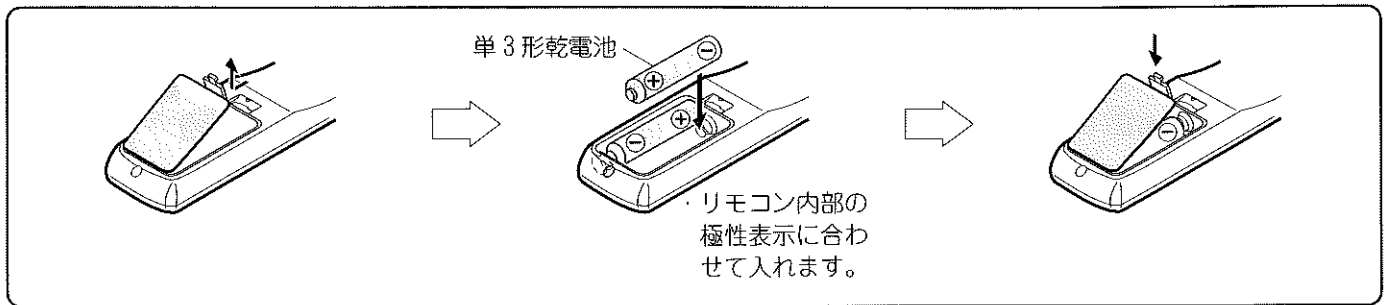
MULTI CONTROLボタン

- ファンクションが「TAPE」のとき
 - ・◀◀ REW : テープの巻戻し 20
 - ・■ STOP : テープの停止
 - ・▶▶ FF : テープの早送り 20
- ファンクションが「TUNER」のとき
 - ・◀◀ と ▶▶ : オート選局/マニュアル選局 22

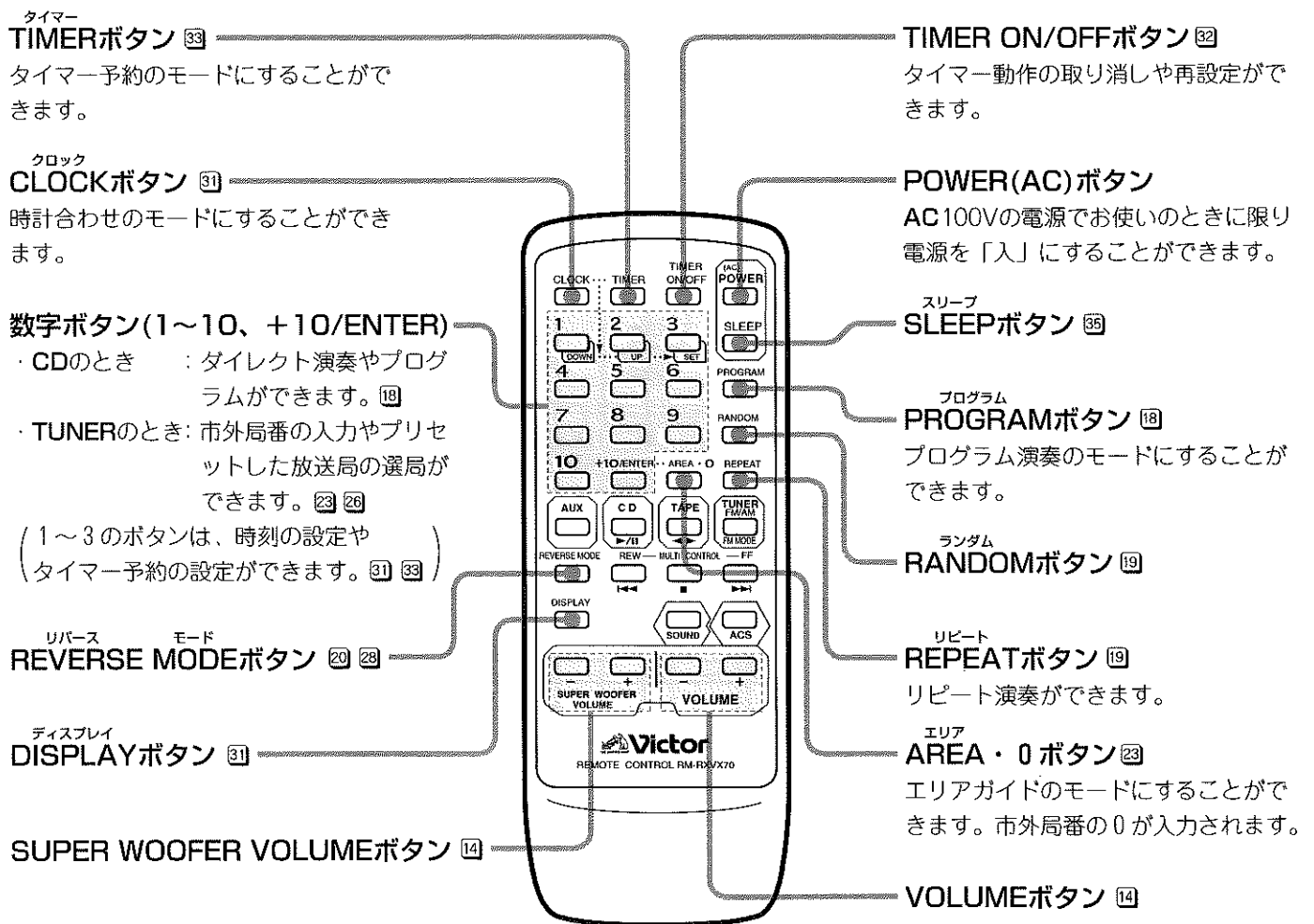
■リバースモードを◻にして録音しても、リバース方向の巻き終わりでテープは自動停止します。録音中は◻が表示窓に表示されます。

リモコンの使いかた —□内の数字のページに説明があります。—

乾電池の入れかた



各ボタンの名前



リモコンの正しい使いかた

- 本体のリモコン受光部に正しく向けてボタンを押してください。
- 操作可能な距離は、リモコン受光部より約7mですが、斜めから操作すると短くなります。

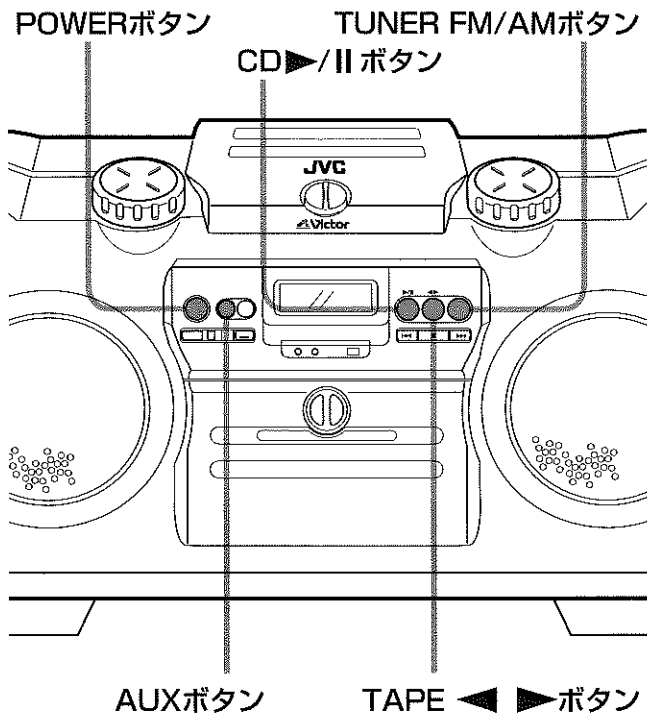
説明のないボタンは、本体の各ボタンと同じ働きをします。

- リモコン操作できる距離が短くなってきたときは、電池が消耗してきています。2本とも新しい電池(単3形アルカリ乾電池など)に交換してください。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを表示通り正しく入れてください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃をあてないでください。

- ラジオにノイズ(雑音)が入るときは、離してお使いください。
- 動作しないことを避けるため、次のような状態では使用しないでください。
 - ・ リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっているとき。
 - ・ リモコン受光部の前にリモコンの信号を妨げる物があるとき。

電源の入/切について

電源の入/切は



- 電源「入」にするには



・表示窓の照明が点灯します
(AC電源のときのみ)

- 電源「切」にするには



・表示窓の照明が消え、時刻表示のみになります。

(電源「切」はPOWERボタン以外ではできません)

- イチ押しボタンを使って電源「入」にするには

(AC電源でお使いのときのみ)

電源「切」のとき、下図のボタンを押すだけで電源が入り、ファンクションも切り替わります。

で注意

- 乾電池またはカーアダプターでお使いのときは、イチ押しボタンの機能は働きません。
POWERボタンを押し、電源を入れてから操作してください。
また、電池やバッテリーの消耗を防ぐため電源「入」のとき表示窓の照明は点灯しません。

	ファンクション	動作
▶/II CD	「CD」	CDが入っているとき押すと、演奏がスタートします。
◀▶ TAPE	「TAPE」	テープが入っているとき押すと、再生がスタートします。
FM/AM TUNER	「TUNER」	電源を切る前の放送局を聞くことができます。
AUX ○	「AUX」	AUX IN端子に接続した機器の音を聞くことができます。

お使いになる前に

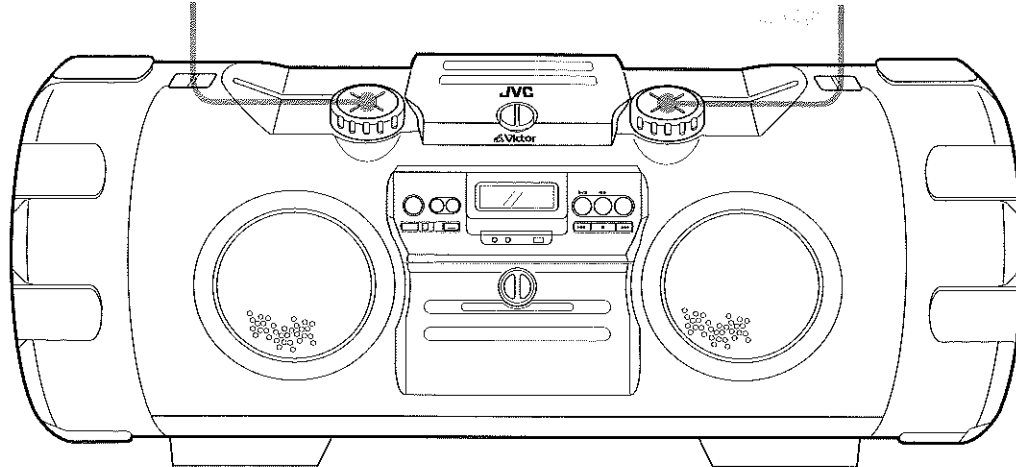
■イチ押しボタンの機能は、リモコンでも本体と同様に働きます。

■電源「切」にするときは、必ずPOWERボタンを押して切ってください。

音量・音質の調節

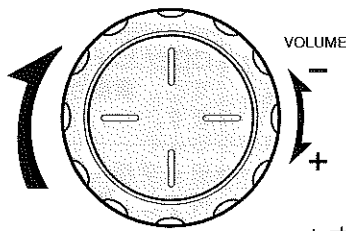
SUB WOOFER VOLUMEつまみ

VOLUMEつまみ



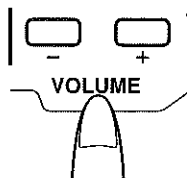
音量の調節

本体



・+方向に回すと音量が上がり、-方向に回すと下がります。

リモコン

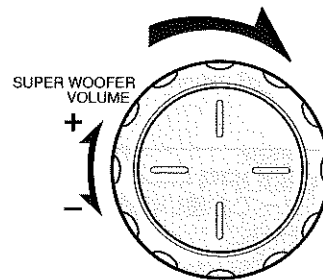


VOL 0～VOL 50まで調節できます。
音量は約2秒間表示窓に表示されます。

音質の調節

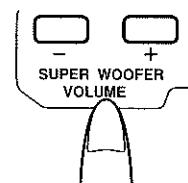
●重低音を増強するには

本体



・+方向に回すと重低音が増強されます。-方向に回すと下がります。

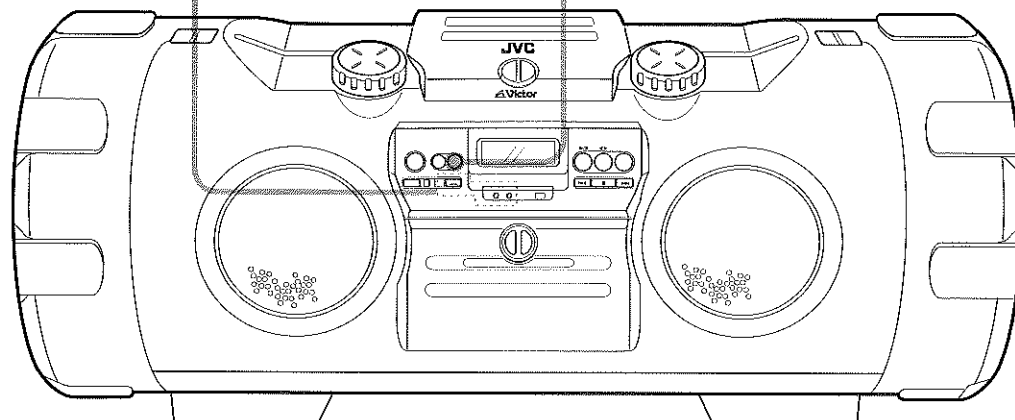
リモコン



BASS 1～BASS 6まで調節できます。
音量は約2秒間表示窓に表示されます。

■本体のVOLUMEおよびSUPER WOOFER VOLUMEは、ロータリーボリュームのためストッパーがありません。表示窓の音量表示を見ながら適度に設定してください。

ACTIVE CLEAR SOUNDボタンとランプ SOUNDボタン

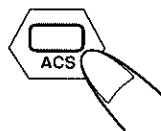
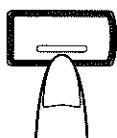


●重低音とバランスのとれたクリアな高音を再現します。

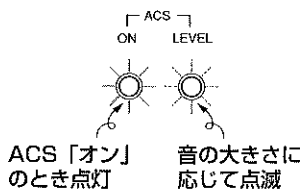
本体

リモコン

ACTIVE CLEAR SOUND



・押すごとに「オン↔オフ」が選べます。



●ACS(アクティブクリアサウンド)とは

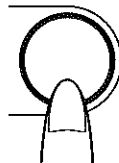
迫力ある重低音に対し、SN比を悪化させることなく高音域をクリアに強調するACS回路により、高音域を入力信号に併せてアクティブにコントロールし、低音域から高音域までバランスの良いサウンドを再現します。

●お聞きになる音楽に合わせて音質が選べます。

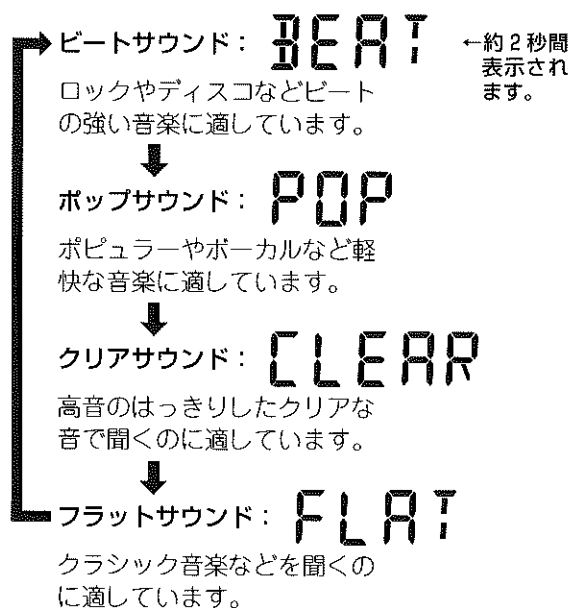
本体

リモコン

SOUND



・初期設定は「FLAT」です。SOUNDボタンを押すごとに変わります。

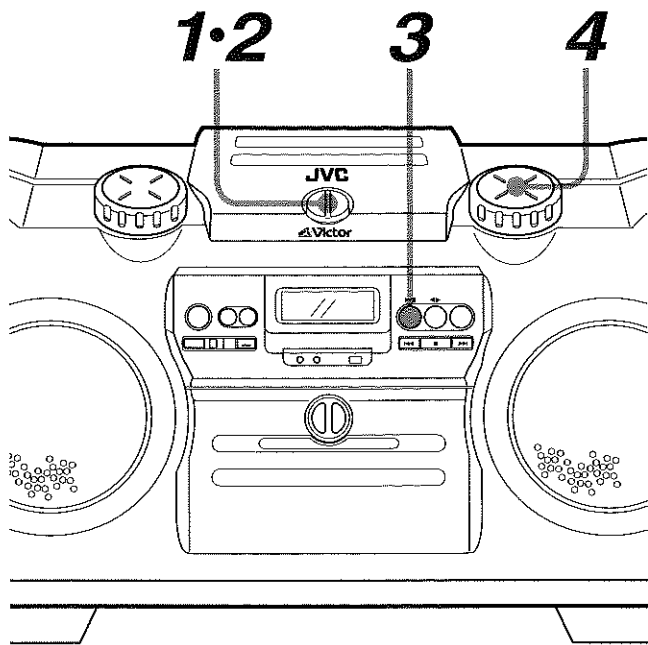


■SOUNDボタンで選んだ音質は、スピーカーやヘッドホンの音に効きます。録音される音やDIGITAL OUTには効きません。

CDを聞く —番号順に操作します。—

全部の曲の演奏 —12曲入り、演奏時間48分57秒のCDを使用した場合です。—

- AC100Vの電源でお使いの場合です。
乾電池またはカーアダプターでお使いのときは、本体のPOWERボタンを押して電源を入れてから操作してください。



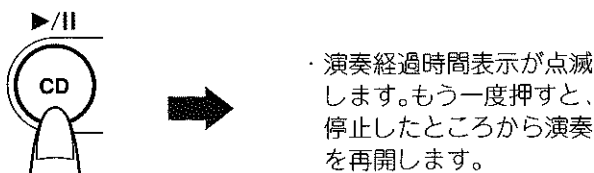
- CDドアをしめるときは「カチッ」と音がするまで確実にLOCK/RELEASEつまみを回してください。

演奏を停止するには

- 途中で停止するには

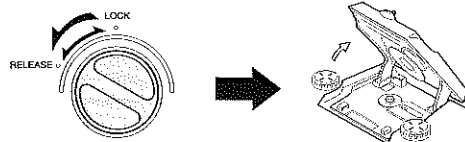


- 一時停止するには



■音量にご注意
CDはアナログレコードに比べ非常にノイズが少なくなっています。ノイズを聞きながら音量を調節しておく、思わぬ大出力になることがあります。電源を切る前に音量は絞っておきましょう。

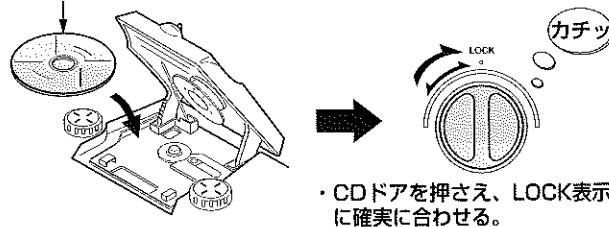
1 CDドアを開ける



- ・RELEASE表示に確実に合わせる。表示窓にOPENが表示されます。

2 CDを入れCDドアをしめる

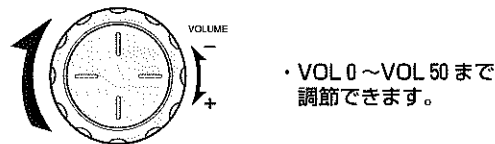
文字のある面を上
(8センチCDもそのまま使えます)



3 CD▶/|| ボタンを押す



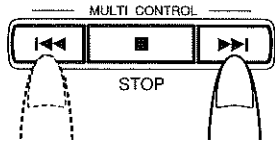
4 音量を調節する



- 聞きたいCDが入っているときは直接CD▶/||ボタンを押します。電源が入り、演奏がスタートします。

■CDを保管するときは
・必ず専用ケースに入れて保管してください。
・直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所には置かないでください。

曲の頭出しをするには(スキップ)

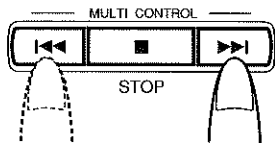


演奏中に押すと、その曲の頭に戻ります。

次の曲の頭に移動します。

▶▶または◀◀ボタンを「ポン」と押しごとに前後の曲の頭出しができます。

曲の早送り・早戻しをするには(サーチ)



早戻し

早送り


▶▶または◀◀ボタンを演奏中に押し続けると早送り(または早戻し)ができます。押し続けるとサーチ速度は早くなります。演奏中の1/4程度の音が出ますので、聞きたいところで指を離します。

露がついたら

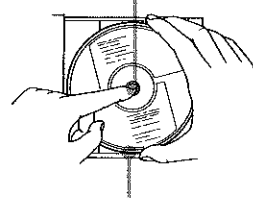
次のような場合、本機のレンズに露(水滴)が付いてCDプレーヤーが正しく演奏できない場合があります。

- 暖房を始めた直後の部屋
 - 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
 - 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき
- 電源を入れ、約1~2時間待ってからお使いください。

お願い

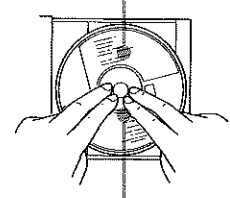
- CDにゴミやキズが付いていた、裏表を逆に入れたときは、のように表示されることがあります。このようなときはCDの裏表を確かめて入れ直すか、清掃したり交換してみてください。
- CDを演奏するときは、温度があまり高くない所(なるべく5℃から35℃の範囲)でお使いください。
- 演奏が終わったらCDを取出しCDドアをしめておいてください。
- CDの内容によっては音飛びを起こすこともあります。このようなときは、音量を下げてください。
- 本機に強い衝撃を与えたり、振動の多い所で使用すると、音飛びを起こすことがあります。
- ケースからの出し入れ

センターホルダーを押さえ



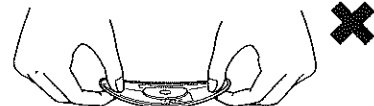
演奏面(虹色に光っている面)に触れないように持って出す

文字のある面を上にして…





上から押さえて入れる

- CDに紙を張ったり字を書いたりしないでください。
- CDは曲げないでください。



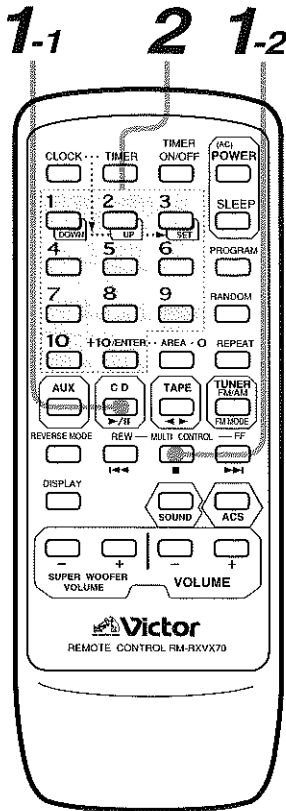
- ハートや花などの形をしたシェイプCD(変形CD)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

リモコンでCDのスキップ/サーチするときは、またはボタンを使います。

CDを聞く(つづき) —番号順に操作します。—

聞きたい曲から演奏(リモコンを 使います)

- プログラムされていない状態のとき、リモコンの数字ボタンを押すと直接その曲から聞くことができます。ダイレクト演奏ともいいます。



1-1 **1** ファンクションを「CD」にする

演奏がとまったら

2 数字ボタンを押す

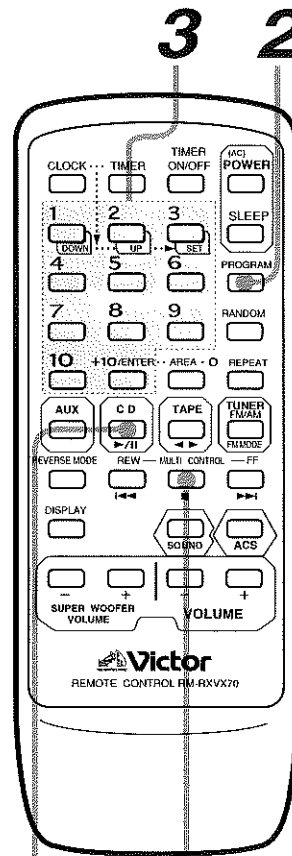
- 1~10曲目のときは…
1 ~ 10までの希望するボタンを押す。
- 11曲目以上のときは…
+10/ENTER ボタンのあと 1 ~ 10のボタンを押す。
例：15曲目
+10/ENTER → 5 と押す。
例：20曲目
+10/ENTER → 10 と押す。
例：25曲目
+10/ENTER → 10 → 5 と押す。
…
押した曲番号が表示窓に表示され、ダイレクト演奏がスタートします。

●演奏中も別の曲に変更できます

聞きたい曲と同じ番号の数字ボタンを押してください。押した曲番号に表示が変わり、曲の頭から演奏がスタートします。

プログラムして演奏(リモコンを 使います)

- 最大20曲までプログラム(予約)できます。プログラムした曲の合計時間(最大99:59まで)は、表示窓に表示されます。



3 **1** ファンクションを「CD」にする

演奏がとまったら

2 PROGRAMボタンを押す

3 数字ボタンでプログラムする
(例：2、6、12と予約)

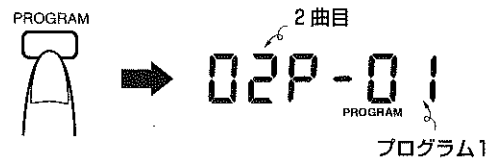
曲番号	プログラムの合計時間
12	12:27

1-1 **1-2**
4

- プログラムの取り消し
停止状態のとき
■(停止)ボタンを押します。またCDドアを開けたときも取り消されます。

4 CD▶/II ボタンを押す
→プログラム演奏スタート

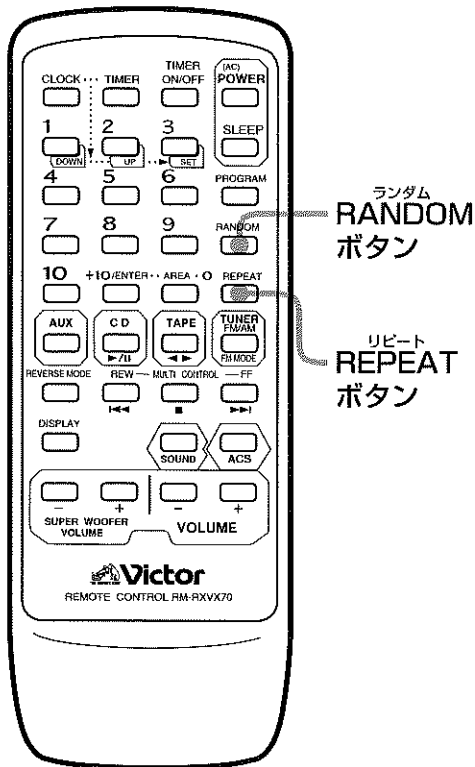
●プログラム内容の確認



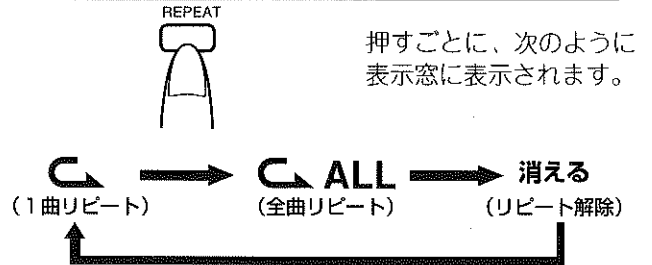
■ +10/ENTER ボタンだけではダイレクト演奏やプログラムすることはできません。必ず 1 ~ 10のボタンと併用してください。
■ プログラムした曲の合計時間が99:59を超えたときは、合計時間の表示が消えます。このようなときはいったんプログラムを取消し、予約し直してください。

■ 21曲以上のプログラムはできません。
■ プログラム順に録音するときは、上記4の操作は必要ありません。
■ プログラムを間違えたときは、いったん取り消したあと上記2から操作し直してください。
■ 電源を「切」にすると、プログラムは取り消されます。

リピート演奏/ランダム演奏—ファンクションが「CD」のとき操作してください。—



リピート演奏 (リモコンを使います)



CD▶/|| ボタンを押すと演奏が始まります。

- ・ 1曲リピート：曲番号が表示されている曲のくり返し演奏
- ・ 全曲リピート：全曲(またはプログラムした曲)のくり返し演奏

ランダム演奏 (リモコンを使います)

表示窓に^{ランダム}RANDOMが表示されます。
 順不同に全曲を演奏したのち自動停止し、解除します。

■他のラジオやテレビから離して
 ラジオやテレビの近くでCDを演奏すると雑音(ノイズ)が入ったり、画像が乱れることがあります。できるだけ本機を離してお使いください。

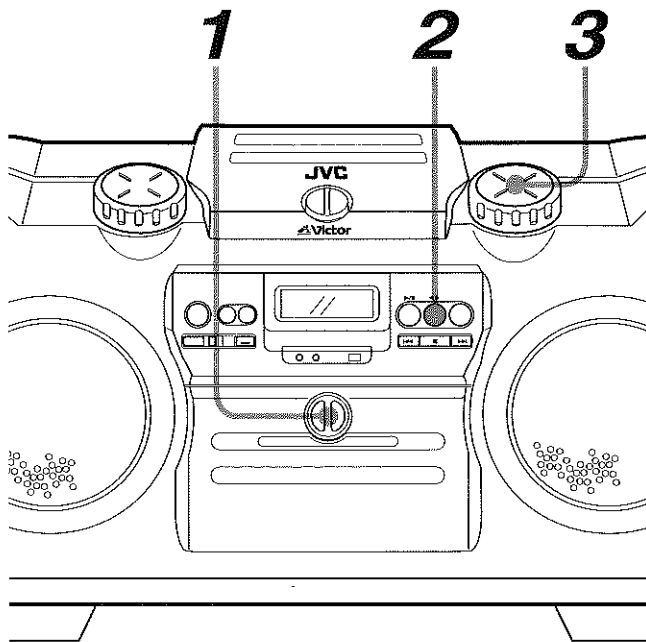
聞
 <

テープを聞く 一番号順に操作します。

●テープの種類(ノーマル、ハイポジ、メタル)は、自動的に判別されるオートテープセレクト方式になっています。

●AC100Vの電源でお使いの場合です。

乾電池またはカーアダプターでお使いのときは、本体のPOWERボタンを押して電源を入れてから操作してください。

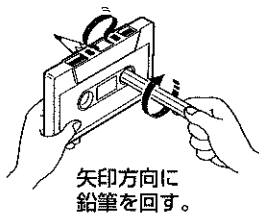


●カセットホルダーをしめるには

カセットホルダーをしめるときは、「カチッ」と音がするまで確実にLOCK/RELEASEつまみを回してください。

カセットテープの取り扱いかた

- テープにたるみがありますと、巻き込んだり、故障の原因になります。使用する前に右図のようにしてたるみを取り除いてください。



矢印方向に鉛筆を回す。

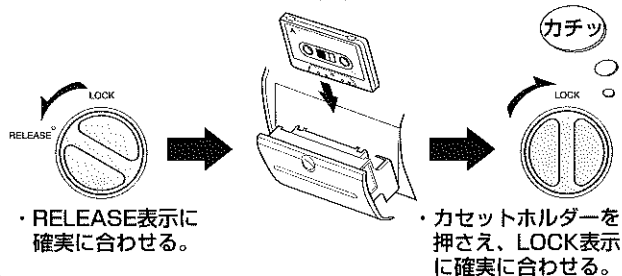
- テープを引き出したり、テープ面にふれないでください。
- C-120などの長時間テープについて長い時間使えて便利ですが、薄く伸びやすいためこきざみな走行、停止、および早送り・巻戻しをくり返すと、テープが機械に巻き込まれる原因となります。なるべく90分(C-90)以下のテープをご使用ください。

テープの種類

本機では次の3種類のテープがお使いになれます。

テープの種類	再生	録音
ノーマルテープ (TYPE I)	○	○
ハイポジションテープ (TYPE II)	○	○
メタルテープ (TYPE IV)	○	×

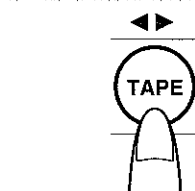
1 テープを入れ、ホルダーをしめる (A面を手前にし、テープの見える面を下にする)



・RELEASE表示に確実に合わせる。

・カセットホルダーを押さえ、LOCK表示に確実に合わせる。

2 TAPE ◀▶ ボタンを押してテープを再生する



・ファンクションは「TAPE」になります。

・電源が入りテープの再生がスタートします。押すごとにテープの走行方向が変わります。
A面：▶(フォワード方向)
B面：◀(リバース方向)
が表示窓に表示されます。

3 音量を調節する

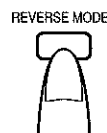
・音量は表示窓に表示されます。

●聞きたいテープが入っているときは

直接TAPE ◀▶ ボタンを押します。電源が入り、テープの再生がスタートします。

リバースモードの選択

・リモコンのREVERSE MODEボタンを押して選びます。

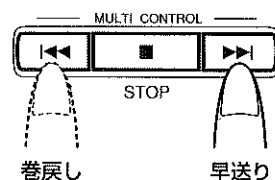


- ・ Z ...片道の再生
- ・ Z ...往復の再生
- ・ Z ...連続再生

選んだリバースモードは、表示窓に表示されます。

● Z または Z で再生した場合、テープが巻き終わると自動的に停止します。

テープを早送りしたり巻戻すには



巻戻し

早送り

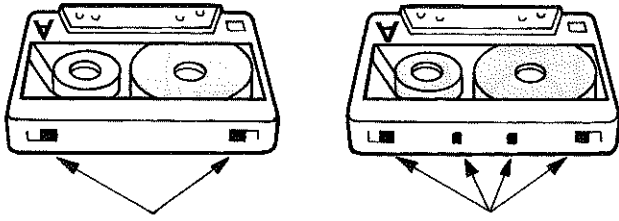
・ファンクションが「TAPE」のとき押すと、テープの走行方向に関係なく早送り、巻戻しができます。

■途中でテープをとめるには...
■STOPボタンを押します。

■テープが入っていないときは、テープの走行方向を変えることができません。

カセットテープの種類検出穴について

本機は、オートテープセレクト方式になっていますので、テープの種類は自動的に判別されます。



ハイポジションテープ (TYPE II) の種類検出穴 メタルテープ (TYPE IV) の種類検出穴

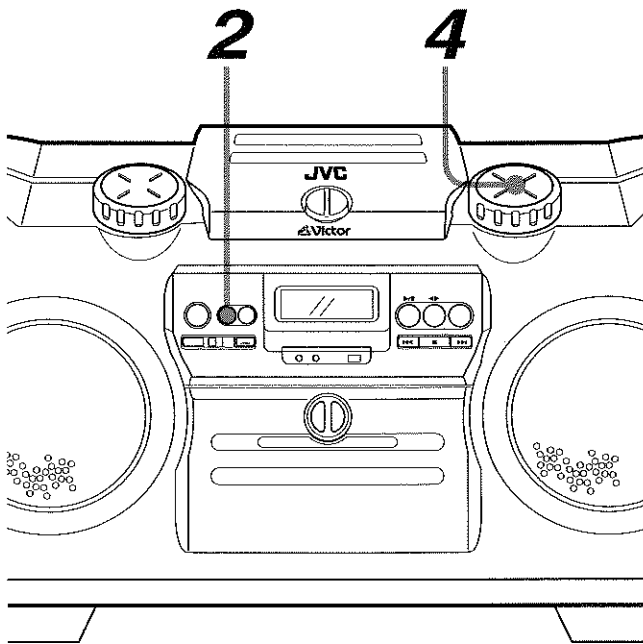
(本機には再生に限り) 使えます

・ノーマルテープ (TYPE I) には、この検出穴はありません。

他の機器の音を聞く —番号順に操作します。—

●AC100Vの電源でお使いの場合です。

乾電池またはカーアダプターでお使いのときは、本体のPOWERボタンを押して電源を入れてから操作してください。

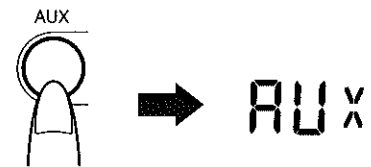


1 AUX IN端子に他の機器をつなぐ

→ 2 ページ参照

・別売りのMDレコーダー：XM-R2やレコードプレーヤーなどが接続できます。

2 ファンクションを「AUX」にする



・電源が入ります

3 他の機器の演奏を始める

・詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

4 音量を調節する

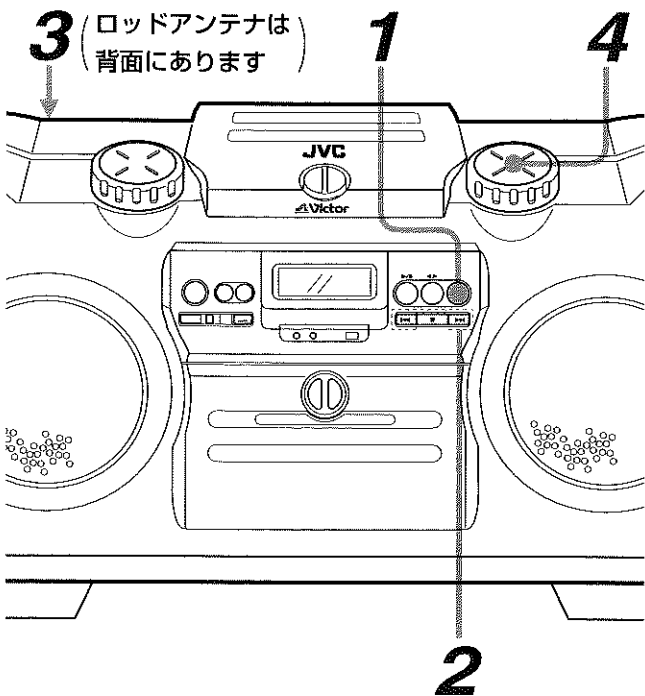
・音量は表示窓に表示されます。

放送を聞く —番号順に操作します。—

オート選局/マニュアル選局 —▶▶または◀◀ボタンによる選局—

●AC100Vの電源でお使いの場合です。

乾電池またはカーアダプターでお使いのときは、本体のPOWERボタンを押して電源を入れてから操作してください。



●オート選局のときは…

◀◀または▶▶ボタンを1秒以上押し続け、周波数表示が変わりだしたら指を離します。自動的に放送局を探し、受信すると止まります。

●マニュアル選局のときは

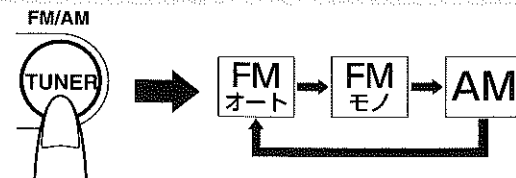
◀◀または▶▶ボタンを「ポン」と1回押しごとに、次のように周波数が変わります。

FM放送*	0.1MHzずつ	: 76.0~108.0MHz
AM放送	9kHzずつ	: 531~1629kHz

*テレビの1~3チャンネルは、周波数が合わないためうまく受信できません。これはテレビ音声は50kHz間隔のためで、故障ではありません。

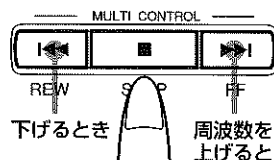
●エリアガイド機能を使わない選局ができます。

1 バンドを選ぶ (FMまたはAM)



・電源が入り、押すことで電源が入り、押すことでバンドが変わります。

2 放送局に合わせる



・オート選局またはマニュアル選局ができます。左記の説明をご覧ください。

3 アンテナを調節する

- ・FM放送：ロッドアンテナの長さ、角度、方向を最も良く受信できるように調節します。
- ・AM放送：本機を窓側などの良く受信できる所に置き、向きを変えてみる。

4 音量を調節する

・音量は表示窓に表示されます。

●FMステレオ放送を聞くには

通常は「FMオート」でお使いください。ステレオ放送を受信すると、表示窓に「STEREO」が表示されステレオで聞くことができます。雑音が多くて聞きにくいときは「FMモノ」に切換えます。表示窓に「MONO」が表示されます。

ちょっと一言

- 電源を切ったり、ファンクションをCDやTAPEなどに切り換えても聞いていた放送局はメモリーされています。再び電源を入れたり、TUNER FM/AMボタンを押すと同じ放送局が受信できます。

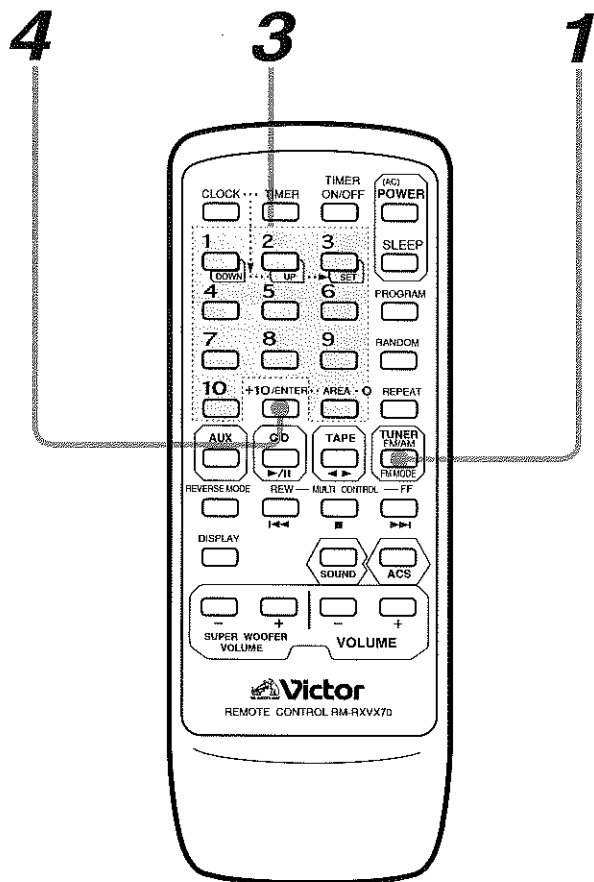
■電波が弱くてオート選局が自動停止しないときは…
押し続けたボタン (▶▶または◀◀) をもう一度「ポン」と押してマニュアル選局に切換えてください。

■「MONO」表示は、別の放送局にすると自動的に消えます。

■受信したい放送局の周波数が不明のときは…
新聞等の番組欄をご覧ください。

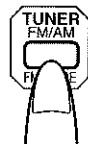
■AM放送はモノラル受信です。

市外局番で放送局をメモリー(リモコンを) - エリアガイド機能を使うには -



- 市外局番を入力するだけで、あなたの地域で受信できる放送局が自動でメモリーできます。

1 ファンクションを「TUNER」にする



・電源が入り、バンドが表示されます。

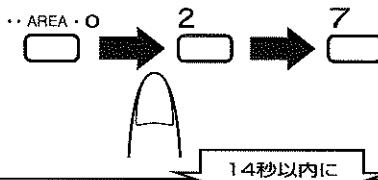
(FMまたはAMのどちらでもかまいません)

2 アンテナを調節する

・FM放送がうまく受信できるように、ロッドアンテナの長さ・角度を調節します。

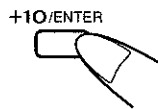
3 あなたの地域の市外局番をリモコンで入力する

例：市外局番が027の場合



・押した数字が表示窓に表示されます。

4 +10/ENTER ボタンを押す⇒メモリー開始



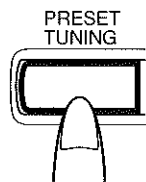
・AM⇒FMの順に周波数の低い放送局からメモリーしていきます。バンドごとに最大15局までです。
・FM放送の最初のメモリー局が表示されると終わりです。

● 市外局番は…

あなたのお住まいの地域のAM放送を、本機から呼出すために使います。別の市外局番を入力すると、その地域のAM放送になります。

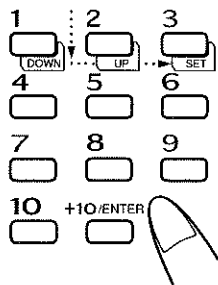
● メモリーした放送局を聞くには

本体



・プリセットステーション1(P-1)から順に選局できます。

リモコン



・1～10局のときは…
直接1～10ボタンを押します。
・11～15局のときは…
+10/ENTERのあと1～5のボタンを押す。

例：12局を聞くには
+10/ENTER → 2

・聞きたい放送局がダイレクトに選局できます。

■エリアガイド機能によりAM放送は、本機に内蔵されている放送局(2～8ページ参照)を呼出してメモリーします。
FM放送は、市外局番03と06を入力したとき以外はあなたの地域で受信できる放送局を76.0～90.0MHzの間でサーチし、メモリーします。
市外局番03と06の場合、本機に内蔵されている放送局(03は12局、06は7局)を呼出してメモリーします。

■市外局番を間違えたときは…
上記の3の操作をやり直してください。
■メモリー後FM放送が76.0MHz以外表示されないときは…
放送局がメモリーされておりません。受信状態の良い所で操作し直してください。

聞

<

放送を聞く(つづき)

●エリアガイド放送局一覧(東日本編)

AM放送の場合、エリアガイド機能により地域ごとに下記の周波数が呼出せます。

市外局番	都道府県名	エリアの放送がよく入る代表都市名	P-1	P-2	P-3	P-4	P-5	P-6	P-7	P-8
011										
0121~0149	北海道	札幌	567kHz	639kHz	675kHz	747kHz	864kHz	900kHz	1,287kHz	1,440kHz
0151~0152	〃	網走	702kHz	909kHz	1,188kHz	1,449kHz	*	*	*	*
0153~0156	〃	釧路	585kHz	603kHz	882kHz	1,152kHz	1,269kHz	1,404kHz	1,071kHz	*
0157~0159 0150	〃	北見	747kHz	801kHz	1,188kHz	1,449kHz	1,485kHz	*	*	*
0160~0169	〃	旭川	567kHz	621kHz	747kHz	864kHz	927kHz	1,197kHz	1,602kHz	*
0170~0179	青森	青森	774kHz	963kHz	999kHz	1,233kHz	1,485kHz	*	*	*
0180~0189	秋田	秋田	774kHz	936kHz	1,503kHz	*	*	*	*	*
019										
0190~0199	岩手	盛岡	531kHz	684kHz	774kHz	*	*	*	*	*
022										
0220~0229	宮城	仙台	891kHz	1,089kHz	1,260kHz	*	*	*	*	*
0230~0239	山形	山形	540kHz	774kHz	918kHz	1,368kHz	*	*	*	*
0240~0249	福島	郡山	693kHz	846kHz	1,098kHz	*	*	*	*	*
025										
0250~0259	新潟	新潟	792kHz	837kHz	1,062kHz	1,116kHz	1,530kHz	1,593kHz	*	*
026										
0260~0269	長野	長野	540kHz	621kHz	693kHz	819kHz	864kHz	1,098kHz	*	*
027										
0270~0279	群馬	前橋	594kHz	693kHz	954kHz	1,134kHz	1,242kHz	*	*	*
028										
0280~0289	栃木・茨城	宇都宮	594kHz	693kHz	954kHz	1,134kHz	1,242kHz	1,530kHz	*	*
029										
0290~0299	茨城	水戸	594kHz	693kHz	954kHz	1,134kHz	1,197kHz	1,242kHz	1,458kHz	*
03,043,044 045,048										
0421~0499	東京・神奈川 千葉・埼玉	東京	594kHz	693kHz	810kHz	954kHz	1,134kHz	1,242kHz	1,422kHz	*
052										
0521~0529 0531~0536	愛知	名古屋	729kHz	909kHz	1,053kHz	1,332kHz	1,404kHz	1,431kHz	*	*
053,054										
0537~0549	静岡	静岡	639kHz	882kHz	1,404kHz	*	*	*	*	*
0551~0557	山梨	甲府	693kHz	765kHz	927kHz	954kHz	1,134kHz	1,242kHz	*	*
0558~0559 0550	静岡	沼津	639kHz	882kHz	1,404kHz	1,557kHz	*	*	*	*
0560~0589 058	愛知・岐阜	岐阜	729kHz	792kHz	909kHz	1,053kHz	1,332kHz	1,431kHz	*	*
0590~0599	三重	津	729kHz	828kHz	1,053kHz	1,332kHz	*	*	*	*

● *印の欄およびP-9~P-15には放送局がメモリーされておりません。お好きな放送局をご自分でプリセットすることができます。⇒28ページ「放送局のメモリーを追加する」を参照

■市外局番が5ケタまたは6ケタ地域の場合…

頭から4ケタを入力し、^{+10ENTER} ボタンを押してください。

■市外局番が変更になったときは…

変更される前の市外局番を入力し、^{+10ENTER} ボタンを押してください。

■近隣の別のAM放送の方がうまく受信できる地域の場合は…

聞きたい放送の地域の市外局番を入力してください。

● エリアガイド放送局一覧(西日本編)

市外局番	都道府県名	エリアの放送がよくなる代表都市名	P-1	P-2	P-3	P-4	P-5	P-6	P-7	P-8
06 0720~0729	大阪	大阪	558kHz	666kHz	828kHz	1,008kHz	1,143kHz	1,179kHz	1,314kHz	*
0730~0739	和歌山	和歌山	666kHz	828kHz	1,008kHz	1,179kHz	1,314kHz	1,431kHz	*	*
075 0740~0759	京都・奈良 滋賀	京都	666kHz	828kHz	1,008kHz	1,143kHz	1,179kHz	1,314kHz	*	*
076 0761~0762	石川	金沢	1,107kHz	1,224kHz	1,386kHz	*	*	*	*	*
0763~0766	富山	富山	648kHz	738kHz	1,035kHz	*	*	*	*	*
0767~0769	石川	七尾	540kHz	1,107kHz	1,386kHz	*	*	*	*	*
0771~0775	京都・滋賀	大津	666kHz	828kHz	1,008kHz	1,143kHz	1,179kHz	1,215kHz	1,314kHz	*
0776~0779 0770	福井	福井	864kHz	927kHz	1,521kHz	*	*	*	*	*
078 0790~0799	兵庫	神戸	558kHz	666kHz	828kHz	1,008kHz	1,179kHz	1,314kHz	*	*
082 0820~0829	広島・山口	広島	702kHz	1,071kHz	1,350kHz	*	*	*	*	*
0830~0839	山口	山口	675kHz	765kHz	918kHz	1,377kHz	1,575kHz	*	*	*
0840~0849	広島	尾道	1,530kHz	999kHz	1,602kHz	*	*	*	*	*
0851~0856	島根	松江	1,296kHz	1,431kHz	1,593kHz	*	*	*	*	*
0857~0859	鳥取	米子	900kHz	963kHz	1,125kHz	1,368kHz	1,431kHz	*	*	*
086 0860~0869	岡山・広島	岡山	603kHz	1,386kHz	1,494kHz	*	*	*	*	*
0870~0879	香川	高松	1,035kHz	1,368kHz	1,449kHz	*	*	*	*	*
0881~0886	徳島	徳島	828kHz	945kHz	1,269kHz	*	*	*	*	*
0887~0889 0880	高知	高知	900kHz	990kHz	999kHz	1,152kHz	1,197kHz	*	*	*
089 0890~0899	愛媛	松山	846kHz	963kHz	1,116kHz	1,512kHz	*	*	*	*
092,093, 0920,0930 0940~0949	福岡・長崎	福岡	612kHz	1,017kHz	1,278kHz	1,413kHz	*	*	*	*
0951~0955	佐賀	佐賀	612kHz	873kHz	1,278kHz	1,413kHz	1,458kHz	*	*	*
0956~0959 0950	長崎	長崎	684kHz	873kHz	981kHz	1,098kHz	1,233kHz	*	*	*
096 0960~0969	熊本	熊本	756kHz	873kHz	1,197kHz	1,341kHz	*	*	*	*
0970~0979	大分	大分	819kHz	873kHz	1,098kHz	*	*	*	*	*
0981~0987	宮崎	宮崎	540kHz	621kHz	873kHz	936kHz	1,467kHz	*	*	*
098,0980 0988~0989	沖縄	那覇	540kHz	549kHz	648kHz	738kHz	783kHz	1,125kHz	*	*
099 0990~0999	鹿児島	鹿児島	576kHz	792kHz	1,107kHz	1,386kHz	*	*	*	*

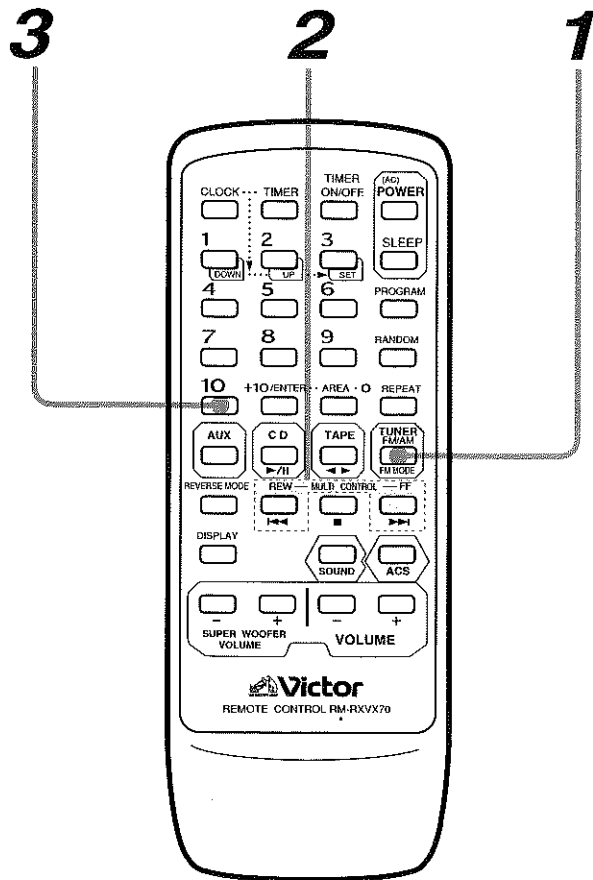
1997年8月現在

聞

<

放送を聞く(つづき)

放送局のメモリーを追加する(リモコンを 使います)



- 15局まで放送局がメモリーされていないときは、バンドごとにメモリーを追加できます。

1 バンドを選ぶ

・押すごとに変わります。

2 メモリーしたい放送局に合わせる

例：AM810kHzのとき

下げるとき 周波数を上げるとき

・オート選局またはマニュアル選局ができます。

3 メモリーしたい数字ボタンを3秒以上押す

例：10のボタンにメモリーするとき

・メモリーしたいプリセットステーション表示が点滅すると本体にメモリーされます。

・3秒以上押す。

・他の数字ボタンにも上記の手順でメモリーできます。

- メモリーを変更するには…

- 1 メモリーしたい放送局を選局する
- 2 変更したい数字ボタンを3秒以上押す

例：15局目にメモリーするとき

3秒以上押す

点滅するとメモリーされます。

お知らせ

- 電波事情や地域によっては、エリアガイド機能でメモリーするよりもマニュアル選局の方が良好に受信できる地域もあります。その場合は、自分でメモリーを追加してください。

■お買い上げ時には各ボタンに周波数がメモリーされていますが、新たに放送局をメモリーすると消えます。

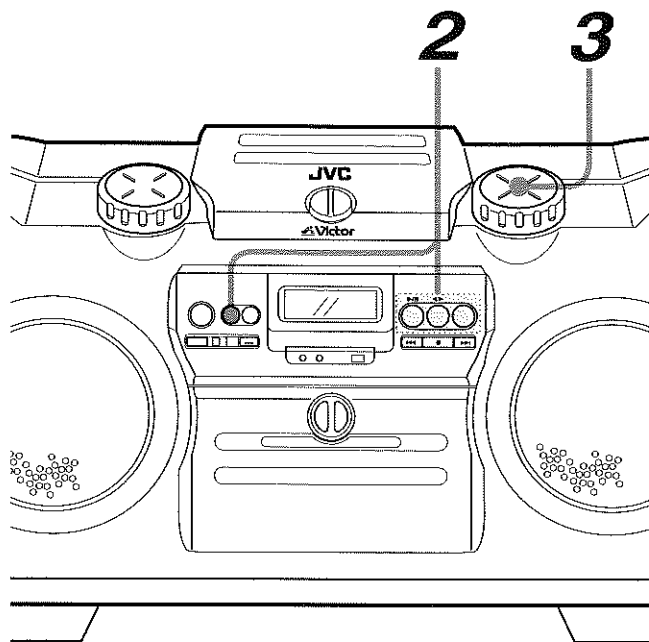
■停電等によりメモリーした放送局が消えてしまうのを避けるため、メモリー用電池を入れておきましょう。⇒8ページ参照

マイクミキシングをする

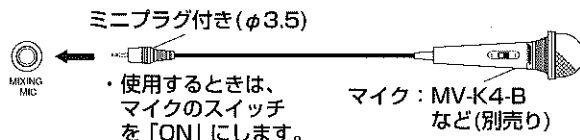
—番号順に操作します。—

●AC100Vの電源でお使いの場合です。

乾電池またはカーアダプターでお使いのときは、本体のPOWERボタンを押して電源を入れてから操作してください。



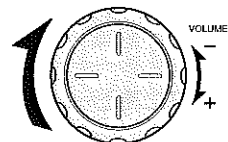
1 マイク端子にマイクを接続する



2 ミキシングする音を出す

	操 作
CDの演奏音	CDを入れ、CD▶/ ボタンを押して演奏する。 ➔ 16 ページ参照
テープ再生の音	テープを入れ、TAPE◀▶ボタンを押して再生する。 ➔ 20 ページ参照
放送の音	TUNER FM/AMボタンを押し、放送局を選ぶ。 ➔ 22 ~ 23 ページ参照
他の機器の音	AUXボタンを押し、他の機器を演奏状態にする。 ➔ 21 ページ参照

3 音量を調節しマイクの音とミキシングする



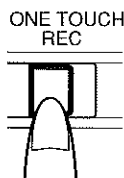
・マイクの音だけ出したときは、CDやテープ再生などを止めてください。

●ミキシング中の音を録音するには (テープ再生の音は録音できません)

1 録音用のテープを入れる

・新しいテープに録音するときは、A面を手前にして入れテープの走行方向を▶(フォワード方向)にして録音します。

2 ONE TOUCH RECボタンを押す



●使い終わったらマイクは抜いておいてください。

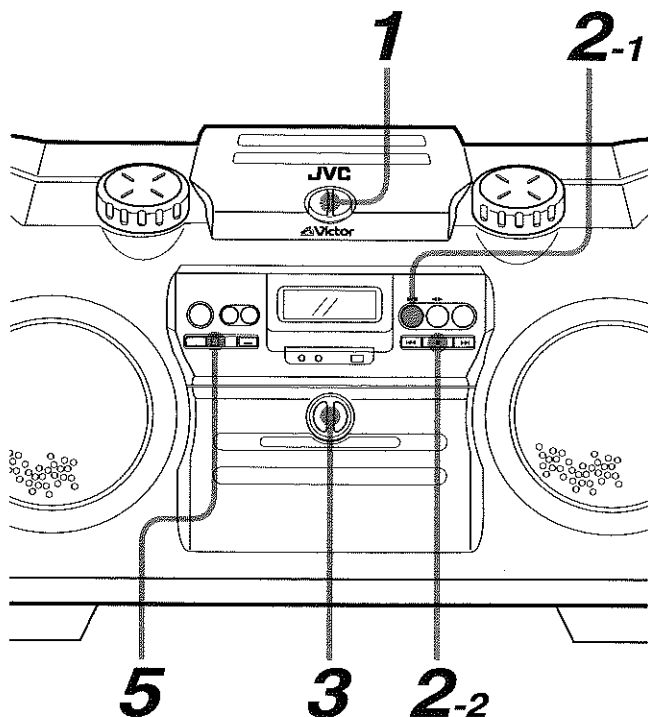
- マイクの正しい使いかた
 - ・マイクは口元から2~3cm程離して使いましょう。
 - ・マイクを吹いたり、たたくと故障の原因となりますのでやめましょう。
- スピーカーから「ピー」という音が出るときは、マイクを本機から離すかまたは音量を下げてください。

聞
く

録音する —番号順に操作します。—

CDの録音 (シンクロ録音) —録音開始に合わせてCDの演奏がスタートします。—

●曲間にあき(ブランク)を作って録音されます。録音レベルの調節は、必要ありません。→ALC方式



●テープの走行方向が◀(リバース方向)になっていたときは

録音用のテープを入れたあと…

- 1 TAPE ◀▶ ボタンを2回押してフォワード方向(▶)にする
- 2 ■STOPボタンを押す
- 3 ファンクションを「CD」にする

(リバース方向(◀)のまま、未使用のテープを、A面を)手前にして録音すると、録音がすぐに停止します

- CDコンプリート録音機能(シンクロ録音時のみ)
曲の途中でリバース方向に反転すると、うら面(B面)には
 - ・フォワード方向最後の曲の録音が10秒以下のときは前の曲の頭から
 - ・フォワード方向最後の曲を10秒以上録音していたときはその曲の頭から録音し直されます。

1 CDを入れ、CDドアをしめる

・文字のある面を上にする。

2 ファンクションを「CD」にする

・ファンクションが「CD」になり、曲数と演奏時間が表示されます。

3 録音用のテープを入れる

(ノーマルテープまたはハイポジションテープを使う)

- ・A面を手前にして入れる。テープの走行方向が▶(フォワード方向)になっていることを確かめる。
- ・リーダーテープ*の部分は先に送っておきます。

4 リモコンでリバースモードを選ぶ

- ・◀▶ : A面からB面にまたがった録音
- ・◀ : 片道の録音

5 押す⇒シンクロ録音スタート

- ・A面(フォワード方向)の録音からスタートし、CDの演奏が始まります。
- ▶表示が点滅し、REC表示が点灯します。

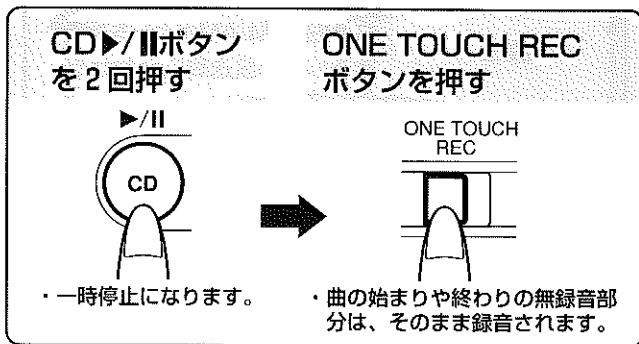
- CDの演奏が終わるとデッキも自動停止します。
- 録音を途中でやめたいときは、■STOPボタンを押します。約4秒後にデッキも自動停止します。

■シンクロ録音中は、CDプレーヤーを一時停止させたり早送り、早戻しはできません。
■リバース方向(◀)で録音が終わったときは、そのままリバース方向(B面)の録音ができます。ONE TOUCH RECボタンを押してください。

■リバースモードを(◀▶)にして録音しても、リバース方向(◀)の巻き終わりでテープは自動停止します。録音中は、(◀▶)が表示窓に表示されます。
■*リーダーテープにご注意
カセットテープの始めには、リーダーテープ(録音できない部分)があります。録音するときは、あらかじめ再生状態でリーダーテープを巻き取っておいてください。

曲間にあき(ブランク)を作らずに録音するには

- CDプレーヤーを一時停止状態にしてから録音すると、収録されたままの内容で録音できます。丸録りできます。



プログラム順に録音するには

左記のシンクロ録音4の操作のあとリモコンで…

- 5** PROGRAM ボタンを押す
- 6** 録音したい曲の曲番号と同じ数字ボタンを押す
→ 18ページ参照
- 7** 本体のONE TOUCH RECボタンを押す
→ プログラム順にシンクロ録音が始まり、CDの演奏が終わるとデッキも自動停止します。

CDの1曲だけ録音するには(1曲録音)

1. リモコンの数字ボタンを押して録音したい曲を演奏する
2. 本体のONE TOUCH RECボタンを押す
演奏中の曲の頭に戻り1曲録音になります。
CDの演奏が終わるとデッキも自動停止します。

B面だけの録音、またはテープの途中から録音するには…

1. 録音したい面を手前にしてテープを入れる
2. リバースモードを Z (片道)にする(リモコン)
3. 録音したい曲をプログラムする(リモコン)
4. 本体のONE TOUCH RECボタンを押す
シンクロ録音が始まり、CDの演奏が終わるとデッキも自動停止します。

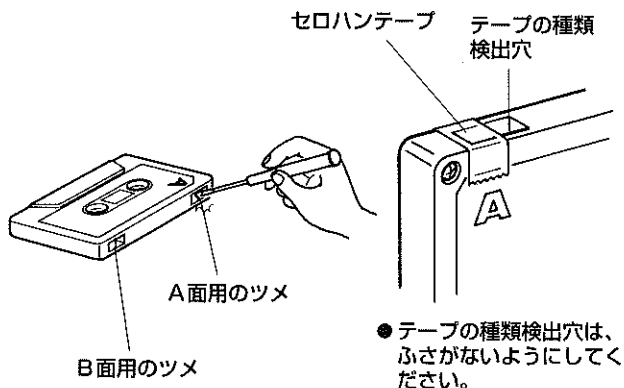
● テープを巻き戻すには

1. TAPE ◀▶ ボタンを押す
(ファンクションを「TAPE」にする)
2. ■ STOP ボタンを押す
3. ■◀◀ REW ボタンを押す

大切な録音を消さないために

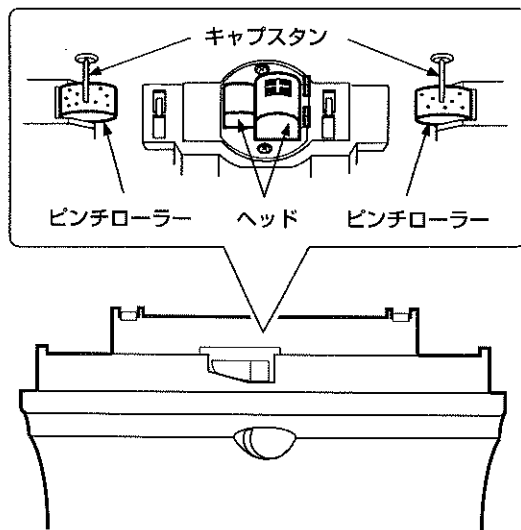
カセットテープには誤消去防止用のツメ(タブ)がついています。

- ツメを折っておくと録音(消去)ができなくなり、誤って消してしまうことが防げます。
- 再び録音したいときはツメの穴をゼロハンテープなどでふさぎます。



● ヘッド部の清掃

音が小さくなったり音質が悪くなる前に、およそ10時間使うごとにヘッドやピンチローラー、キュブスタンを清掃します。



- 市販のクリーニングキット(綿棒とクリーニング液)を使うと便利です。

■あなたがテープレコーダーで録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

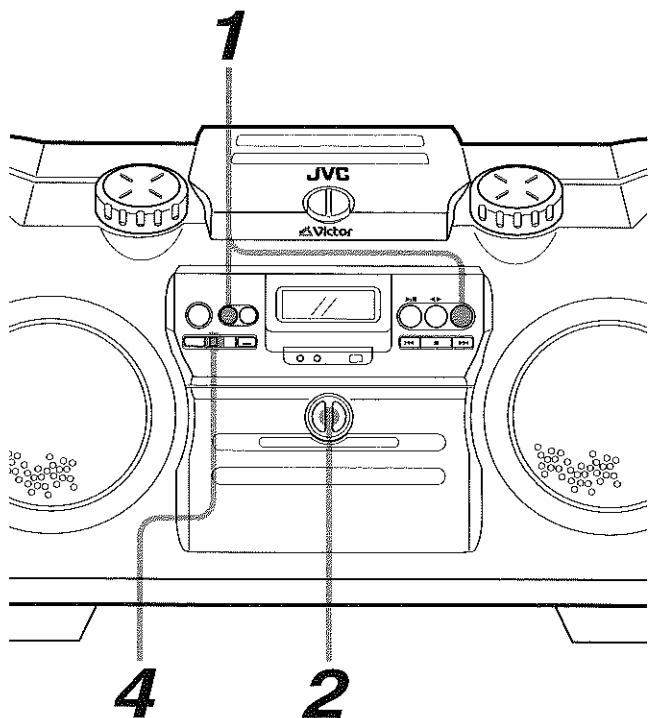
■誤消去防止用のツメが折れていると、録音はできません。

■ヘッドの消磁について
ヘッドが磁化されると、高音が聞こえにくくなったり雑音が多くなります。このようなときは、市販のヘッド消磁器で消磁してください。

録音する(つづき) 一番号順に操作します。

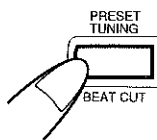
放送や他の機器の音を録音

●録音レベルの調節は、必要ありません。→ALC方式



●AM放送を録音中に「ピー」というビート音が出るときは

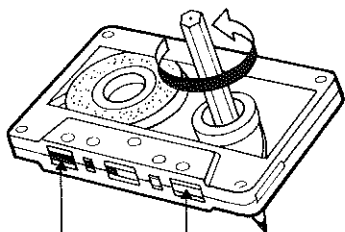
・BEAT CUTボタンを押してビート音が消える(小さくなる)状態を選びます。



CUT-1 → CUT-2
 ↑ CUT-3 ↓

●リーダーテープについて

テープの始まりと終わりには、録音できない部分…リーダーテープ…があります。録音する前にこのリーダーテープの部分を巻き取っておきましょう



磁気テープの部分
(録音できます)

リーダーテープの部分
(半透明で録音
できません)

■他の機器の音を最初から録音するには
 1. ファンクションを「AUX」にする
 2. 録音をスタートする
 3. 接続した機器の音を出す

1 録音したい音を選ぶ

放送	TUNER FM/AMボタンを押し、録音したい放送局に合わせる。
他の機器の音	AUXボタンを押し、録音したい音を出す。

2 録音用のテープを入れる

(ノーマルテープまたはハイポジションテープを使う)

- ・A面を手前にして入れる。
(B面だけ録音したいときは、B面を手前にして入れる) テープの走行方向が▶(フォワード方向)になっていることを確かめる。
- ・リーダーテープは先に送っておきます。

3 リモコンでリバースモードを選ぶ

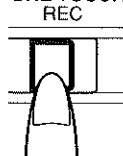
REVERSE MODE



- ・▶ : A面からB面にまたがった録音
- ・◀ : 片道の録音 (A面またはB面)

4 押す⇒録音スタート

ONE TOUCH REC



- ・手前にした面(フォワード方向)から録音がスタートします。
 ▶表示が点滅し、REC表示が点灯します。

●途中で録音をやめるときは

- STOPボタンを押します。
録音・一時停止にすることはできません。

●テープを巻き戻すには

1. TAPE ◀▶ ボタンを押す
(ファンクションを「TAPE」にする)
2. ■STOPボタンを押す
3. ◀◀REWボタンを押す

●テープの走行方向を変えるには

1. TAPE ◀▶ ボタンを押す
・押すごとにフォワード方向(▶)とリバース方向(◀)が選べます。
2. ■STOPボタンを押す

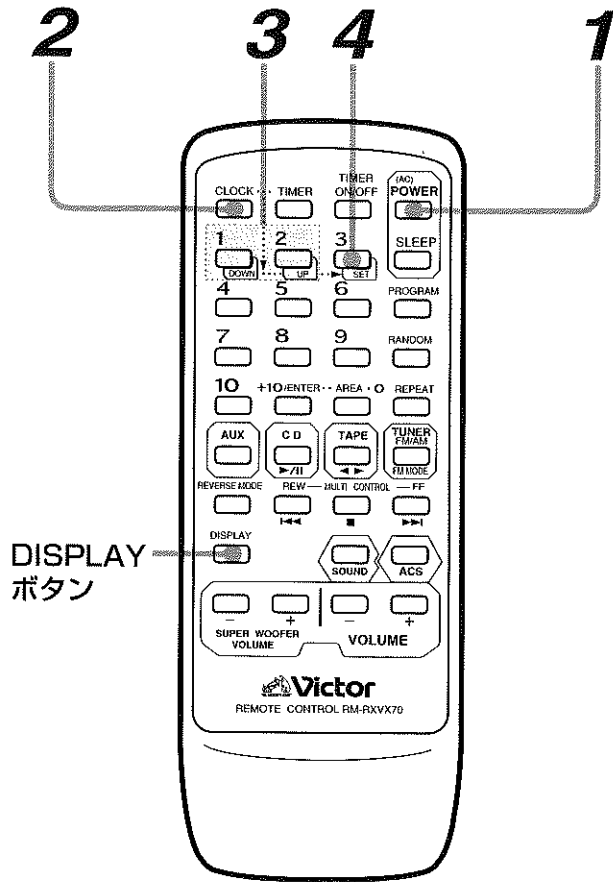
■録音済みテープの音を消すには…
 あらかじめ消したい面を上にしてテープを入れます。
 上記2の操作のときTAPE ◀▶ ボタンを押してファンクションを「TAPE」に切換え録音すると、録音した音を消すことができます。無音のテープができます。
 ■リバース方向(◀)で録音が終わったときは、そのままリバース方向(B面)の録音ができます。

時計の合わせかた (リモコンを 使います) 一番号順に操作します。

現在時刻を合わせるには (初めてお使いになるとき)

- 乾電池またはカーアダプターでお使いのときは、本体のPOWERボタンを押して電源を入れてください。

- 例：午後1時15分(13:15)に合わせるには…
本機の時刻表示は「24時間表示」方式です。



1 電源を入れる

・現在選ばれているファンクションが表示窓に表示されます。
お買い上げ時は「[]」が表示されます。

2 CLOCKボタンを押す

2分以内に
（合わせ直しのときは、現在時刻が点滅します）

3 時刻を合わせる

・「分」と「時」表示が連続して変えられます。 (59分の次は「時」表示がくり上がります)

2分以内に

4 時刻合わせができれば設定する

・SETボタンを押すと00秒からスタートします。 時刻表示が点灯に変わります。2秒後にファンクション表示に変わります。

- 電源コードを抜いたり停電があると… (メモリー用の電池が入っていないとき)



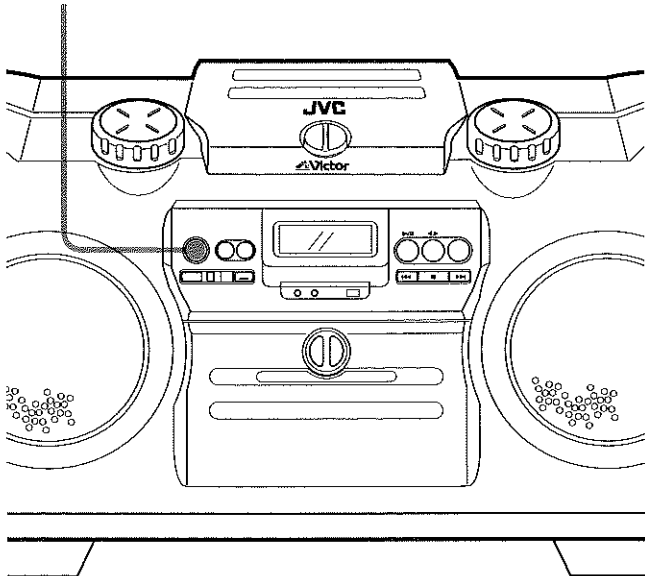
時刻表示が取り消されCLOCK表示の点滅に戻ります。このようなときは、右記2～4の操作で時刻を合わせ直してください。

- 正確に時刻を合わせるには
テレビの時刻表示や電話の時報サービス等を利用してください。時刻を合わせ直すときは、上記の2～4の操作をします。
- CD演奏中または放送受信中に時刻を知るには…
リモコンのDISPLAYボタンを「ポン」と押します。もう一度同じ操作をすると元の表示に戻ります。

タイマーの使いかた —番号順に操作します。—

タイマー再生 (目覚まし再生)

1・3



1 電源を入れる

POWER



・表示窓の照明が点灯します。

(AC電源のときのみ)

2 タイマー予約する(→33ページ参照)

おめざめの音	タイマーモード	タイマー予約後の操作
CDの演奏	「CD」	CDを入れる。
テープ再生	「TAPE」	テープを入れる。
放送	「TUNER」	放送局を選局する。

・音量は任意に設定できます。

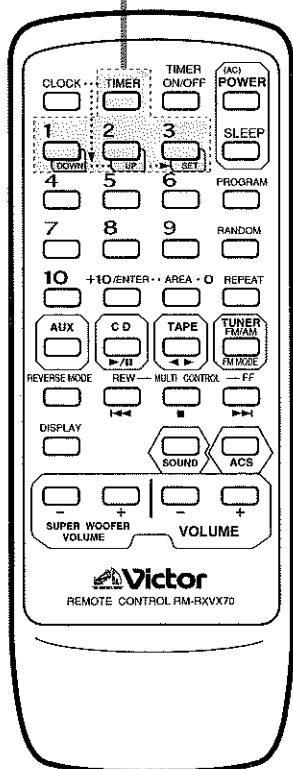
3 電源を切る

POWER



・表示窓にタイマー表示(🕒)が表示されているか確認してください。

2



- 予約した開始時刻になるとタイマー再生が始まり、終了時刻で電源が切れます。
 なお、電源が切れてもタイマー表示(🕒)は残ります。次の日も同じ時刻、同じタイマー予約の内容で使うことができます。

- 音量設定とフェードイン*動作について
 タイマー予約で音量を設定すると、タイマー再生スタート時は音量ゼロから設定した音量まで、自動的にVOLUMEつまみが上がるフェードイン動作を行います。これをウェイクアップボリュームといいます。

- タイマー動作の取り消し
 リモコンのTIMER ON/OFFボタンを押してタイマー表示(🕒)を表示窓から消します。再設定するときも、リモコンのTIMER ON/OFFボタンを押してタイマー表示(🕒)を表示させます。

■音量設定をVOL -にしたときは…

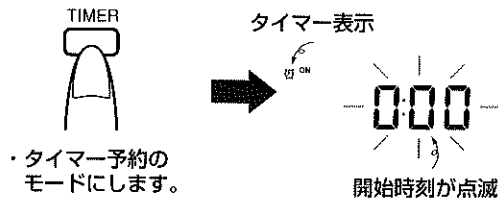
タイマー予約をする前の音量設定のレベルで再生されます。
 ■タイマー再生を途中でやめるときは、POWERボタンを押して電源を切ります。タイマー表示(🕒)は残りますので、次の日も同じ時刻に同じタイマー予約の内容で使うことができます。

■*フェードインとは…

音量ゼロからだんだん大きくして行くことをフェードインといいます。
 ■CDをプログラム順に演奏することはできません。

タイマー予約のしかた (リモコンを使います) —電源を入れてから操作します—

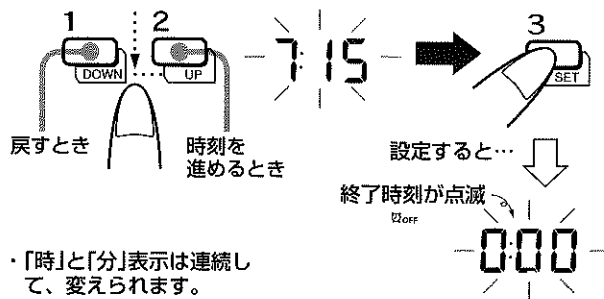
1 TIMERボタンを押す



30秒以内に

2 タイマーの開始時刻を合わせる

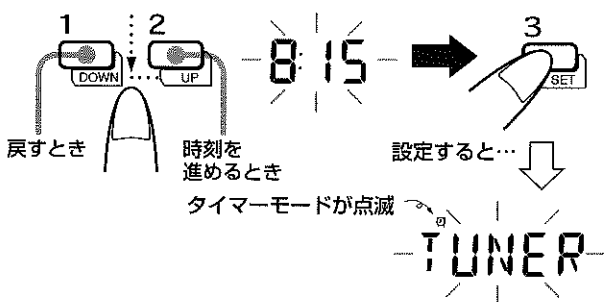
例：午前7時15分に開始のとき



30秒以内に

3 タイマーの終了時刻を合わせる

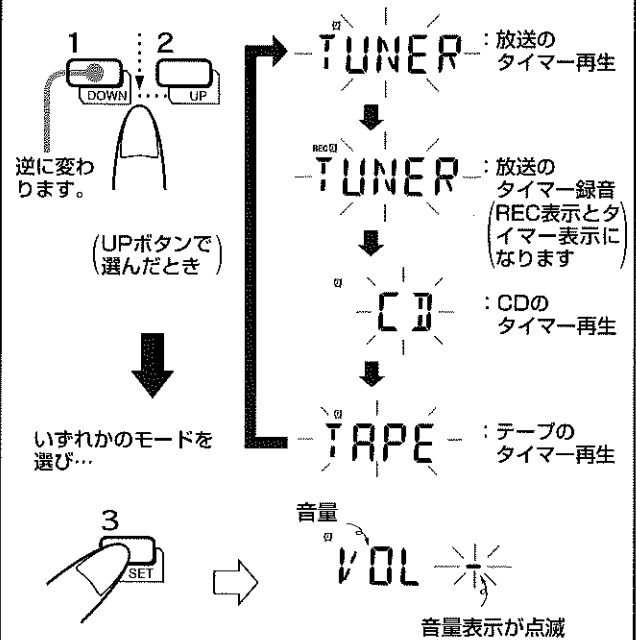
例：午前8時15分に終了のとき



30秒以内に

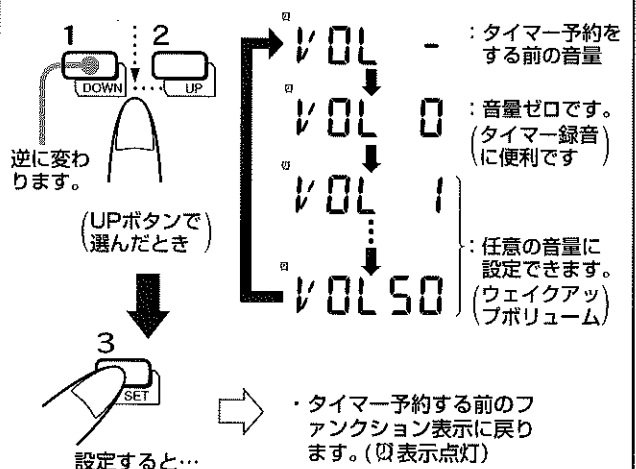
次はタイマーモードを選びます。

4 タイマーモードを選ぶ



30秒以内に

5 タイマー動作中の音量を設定する



●タイマー予約の確認

電源を入れタイマー表示(ON)が表示されているとき

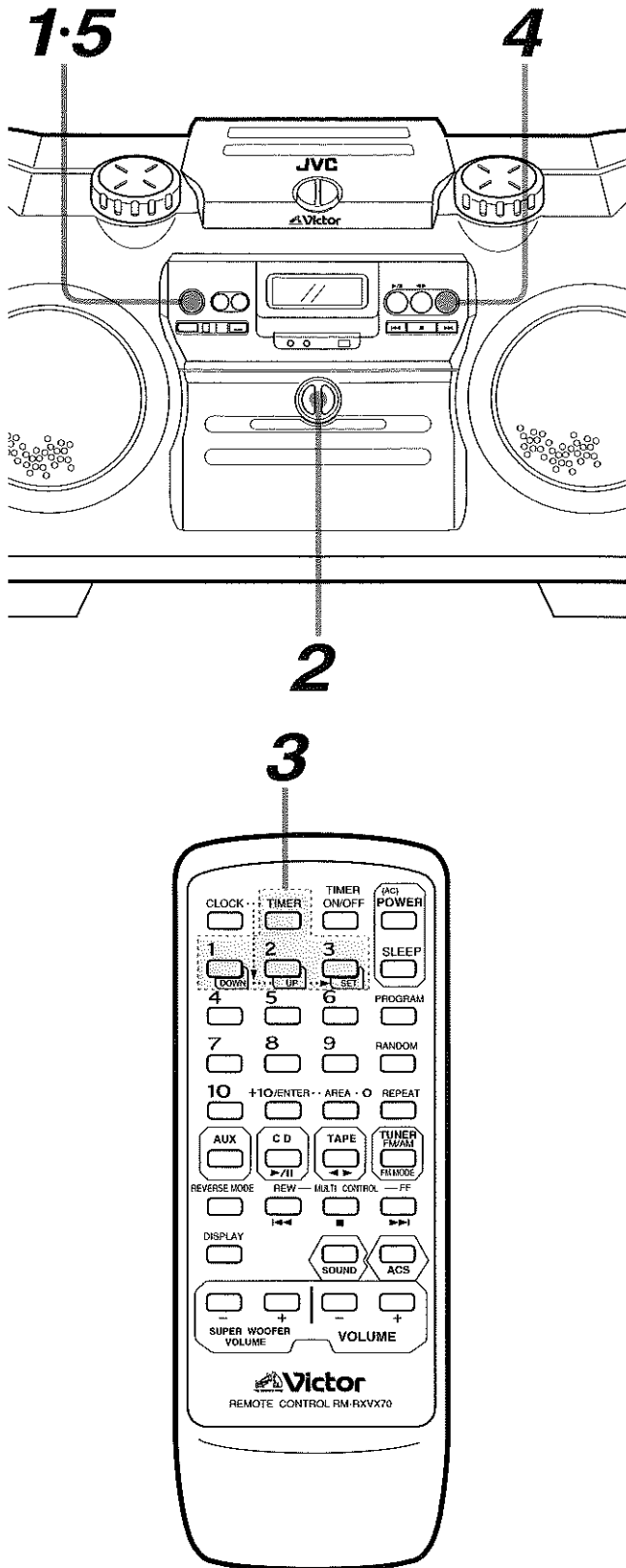


■設定を間違えたり表示が変わってしまったときは... 上記1からの操作をやり直してください。

■タイマー予約は、一度設定するとメモリー(記憶)されます。変更するときは、上記1~5の操作をやり直してください。

タイマーの使いかた(つづき) —番号順に操作します。—

タイマー録音(放送の留守録音)



1 電源を入れる

- ・表示窓の照明が点灯します。(AC電源のときのみ)



2 録音用のテープを入れる

(ノーマルテープまたはハイポジションテープを使う)

- ・録音したい面を手前にし、リバースモードを選んでおきます。
- ・テープの走行方向を▶(フォワード方向)にしておきます。

3 タイマー予約をする(⇒33ページ参照)

- ・開始時刻と終了時刻は1分程度の余裕をとって予約します。

- ・タイマーモードは **TUNER** に合わせます。
- ・VOL. 0 に設定しておく、録音中の音はスピーカーから出ません。

4 放送局を選ぶ(⇒22 23ページ参照)

- ・FM放送を録音するときは、TUNER FM/AMボタンでFM放送のモード(ステレオまたはモノラル)を放送内容に正しく合わせておきます。

5 電源を切る

- ・表示窓にタイマー表示(REC)が表示されているか確認してください。



- 予約した開始時刻になると録音が始まり、終了時刻で電源が切れます。

- 次の日も同じ時刻に同じ放送局をタイマー録音するときは…

リモコンのTIMER ON/OFFボタンを押して表示窓にタイマー表示(REC)を表示させます。

ちょっと一言

- タイマーの開始時刻と終了時刻は一度予約するとメモリー(記憶)されます。時刻を変更したいときは、タイマー予約をし直してください。

■タイマー動作の取り消し
リモコンのTIMER ON/OFFボタンを押してタイマー表示(REC)を表示窓から消します。

■タイマーの開始時刻・終了時刻を予約するときは、あらかじめ希望する放送局が正しく受信できるか確認しておいてください。

おやすみタイマーの*使いかた —番号順に操作します。—

A. CDの演奏などを聞きながらおやすみになるには

1 聞きたい音を出す	
操 作	
CDの演奏	CDを入れ、CD ▶/ ボタンを押して演奏する。
テープ再生	テープを入れ、TAPE ◀▶ ボタンを押して再生する。
放 送	TUNER FM/AM ボタンを押して放送のモードにし、聞きたい放送局を選局する。

2 リモコンのSLEEPボタンを押しておやすみタイマーの動作時間を選ぶ

表示窓に[SLEEP]が表示されます。

- ・30、60、90、120分のいずれかに設定できます。設定後5秒で設定前の表示に戻ります。

● おやすみタイマーがスタートし、指定の時間を経過すると電源が切れます。

● おやすみタイマーの残りの動作時間の確認



・SLEEPボタンを押すと残りの動作時間を表示し、おやすみタイマー動作を継続します。もう一度押すと再設定できます。

● おやすみタイマーの取り消し



・POWERボタンを押して電源を切ると取り消されます。

B. おやすみタイマーを使っておやすみになり、翌朝タイマー再生でおめざめになるには

1 タイマー再生の開始時刻と終了時刻を合わせ、タイマーモードと音量を設定する

→ 33 ページ参照

2 聞きたい音を出す

(CDの演奏またはテープ再生、放送のいずれかを選ぶ)

3 リモコンのSLEEPボタンを押しておやすみタイマーの動作時間を選ぶ

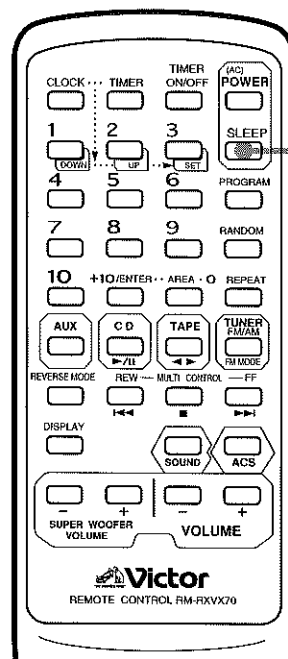
● おやすみタイマーの音と、タイマー再生の音は任意に選べます。

例えば

おやすみタイマー	CDの演奏	テープ再生
タイマー再生	放 送	CDの演奏

ただし、両方とも放送を選んだときは、おやすみ時の最後に聞いていた放送局を翌朝も聞くことができます。

SLEEPボタン



*おやすみタイマーは… テレビなどのオフタイマーと同じ機能で、指定の時間が経過すると自動的に電源を切ります。

時計・タイマー

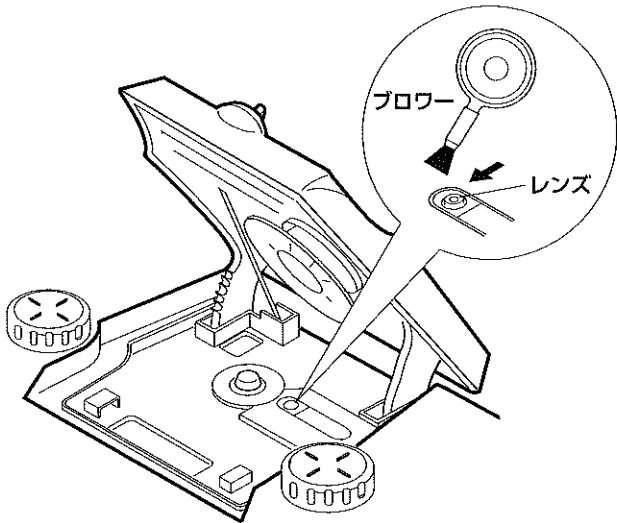
お手入れ

CDプレーヤーのレンズの清掃

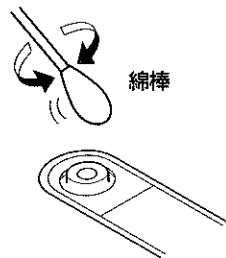
レンズの汚れは音とびなど演奏ができなくなる原因になります。

CDドアを開け、図のようにレンズをクリーニングしてください。

- ほこりなどは市販のクリーニングキットのプロワーを使ってゴミをはき出してください。



- 万一、指紋などが付いているときは綿棒で軽くふいてください。



キャビネットの清掃

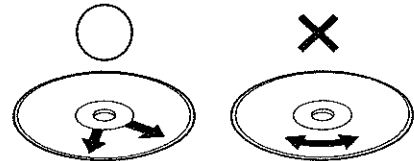
キャビネットやパネル操作面が汚れたら柔らかい布で**からぶき**してください。

汚れがひどいときは、水または中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶき**してください。

CD(コンパクトディスク)のお手入れ

演奏する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側にふきとってください。



- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

■キャビネットやパネル操作面をシンナーやベンジン、アルコールなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
■他の洗剤等をお使いになるときは、その注意書きに従ってください。

こんなときは

—おや？故障かな？と思ったら…
修理に出す前にもう一度お確かめください。—

	症 状	原 因	処置・確認のしかた	参 照 ページ
共通部	音がでない	・電源コードがコンセントから抜けている。	・電源コードをコンセントにしっかり差し込む。	8
		・ヘッドホンがつながれている。	・ヘッドホンのプラグを抜く。	7
	表示窓のCLOCK表示が点滅している	・停電があったため。 または電源コードを抜いたため。 (メモリー用電池が入っていないとき)	・時計合わせやタイマーの予約をし直す。	31
CDプレーヤー部	演奏が始まらない	・CDが裏返しに入っている。	・文字のある面が上になるように正しく入れる。	16
		・CDが汚れている。	・柔らかい乾いた布で演奏面を清掃する。	36
		・レンズに露がついている。	・電源を入れ、約1～2時間待つ。	17
	特定の箇所が正常に演奏できない。	・CDに傷がある。	・CDを交換する。	・
テープデッキ部	録音ができない。	・カセットの誤消去防止用のツメが折れている。	・セロハンテープでツメの穴をふさぐ。	29
チューナー部	雑音が多くて放送がうまく受信できない。	・ロッドアンテナの調節が悪い。	・調節し直す。	・
		・テレビやOA機器がそばにある。	・テレビやOA機器などから離す。	・
タイマー部	タイマーがスタートしない。	・現在時刻が合っていない。	・正しい時刻に設定し直す。	31
		・タイマー表示(Ⅷ)が表示されていない。	・TIMER ON/OFFボタンを押してタイマー表示(Ⅷ)を表示させる。	32
リモコン	リモコン操作ができない。	・リモコンの乾電池が消耗している。	・新しい乾電池(単3形)と交換する。	12
		・リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たってる。	・直射日光や照明器具などの強い光が当たらない所で操作する。	12

●上記の処置をしても正しく動作しないときは

本機はマイコンの働きで、多くの動作を行っております。万一のボタンを押してもうまく動作しないときは、一度電源コードを外し、しばらく待ってからつなぎ直してください。そのあと時計合わせやタイマー予約をし直してください。

- 大切な録音の場合は、必ず事前に試し録音をして正常に録音できることを確認してからお使いください。

お願い

- 本機の故障または不具合等により録音、再生およびCDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

パワーウーハーCDシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

この期間は、通産省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または39ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

持込修理

37ページの「こんなときは」に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎ () -

別売アクセサリ

- ・ヘッドホン：HP-F300C(ダイナミック型)
- ・フォノイコライザー：AC-S100J
- ・フルオートプレーヤー：AL-E350(MM型カートリッジ)
- ・MDレコーダー：XM-R2
- ・マイクロホン：MV-K4-B
- ・接続コード：CN-201A(AUX IN端子の接続用)
- ・光デジタルケーブル：XN-210SA(OPTICAL OUT端子の接続用)
- ・クリーニングキット：CK-25(CD用)

■別売りアクセサリはお買い上げの販売店でお求めください。
■この製品の製造時期は本体の背面に表示されています。

ビクターサービス窓口案内 (ビクターサービスエンジニアリング株式会社)

ビクター製品のアフターサービスはお買上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都府県名	拠点名	TEL	☎	所在地
北海道				
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	004	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	苫小牧 S.S.	(0144)34-6682	053	苫小牧市緑町2-7-11
	室蘭 S.S.	(0143)44-8168	050	室蘭市宮の森町3丁目13-13
	旭川 S.C.	(0166)61-3659	070	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157)25-8557	090	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.C.	(0154)24-0797	085	釧路市若竹町6-13
	帯広 S.S.	(0155)24-4493	080	帯広市東六条南12-11
	函館 S.S.	(0138)46-5324	041	函館市美原3-16-25
東北				
青森	青森 S.C.	(0177)23-2261	030	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	031	八戸市青葉2-21-2
岩手	盛岡 S.S.	(0172)28-0165	036	弘前市高田1-13-1
	水沢 S.S.	(019)637-0121	020	盛岡市津志田12地割字新田原94番地1
秋田	秋田 S.C.	(0197)22-2773	023	水沢市天文台通り3-12
	大館 S.S.	(0188)24-3189	013	秋田市山王中園町4-1
	横手 S.S.	(0186)43-0080	017	大館市美園町5-6
宮城	仙台 S.S.	(0182)32-8873	013	横手市赤坂字犬道向3-6
	石巻 S.S.	(022)287-0151	984	仙台市若林区六丁目の目西町7-13
山形	山形 S.S.	(0225)94-7711	906	石巻市門脇字四番谷地8-18
	酒田 S.S.	(0236)42-0279	990-24	山形市松山3-12-18
福島	郡山 S.S.	(0243)26-7145	998	酒田市龜ヶ崎6-6-1
	いわき S.S.	(0249)52-6331	963	郡山市堤1-3
	会津若松 S.S.	(0246)28-4991	970	いわき市市上荒川字桜町19-4
	福島 S.S.	(0242)32-0247	965	会津若松市滝沢町1-5
関信越				
新潟	新潟 S.C.	(025)241-0527	950	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0259)57-3127	952-13	佐渡郡佐和田町河原田本町93
	上越 S.S.	(0258)24-1462	940	長岡市下条2-1366-1
	松本 S.C.	(0255)44-9987	942	上越市五智1-11
長野	長野 S.C.	(0263)25-9353	390	松本市鎌田2-3-50
	上田 S.S.	(0262)221-9946	380	長野市川合新田962-1
群馬	前橋 S.C.	(0268)23-3589	386	上田市吉里79-1
	宇都宮 S.C.	(027)255-5920	371	前橋市大渡町1-19-1
茨城	水戸 S.C.	(028)635-2656	320	宇都宮市吉町17-9
	土浦 S.S.	(029)246-1531	310	水戸市元吉町1077
山梨	甲府 S.S.	(0298)22-5946	300	土浦市真鍋6-1-25
	山梨 S.S.	(0552)37-3136	400	甲府市湯田2-11-5
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉 S.C.	(043)246-2588	261	千葉市美浜区幸町2-1-1
千葉	柏 S.C.	(0471)75-4322	277	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047)353-6189	279	浦安市当代島2-13-27
南部	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	木更津 S.S.	(0438)36-6413	292	木更津市真船5-4-9
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷 S.C.	(03)5684-8254	113	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル4F
	秋葉原 S.S.	(03)3251-2128	101	東京都千代田区外神田1-6-6
	馬場 S.C.	(03)3993-7520	176	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03)3727-9385	145	東京都大田区北千束2-20-6
	浦安 S.S.	(047)353-6189	279	浦安市当代島2-13-27
	八王子 S.C.	(0426)46-6914	192	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	東京業務機器センター	(03)3874-5231	110	東京都台東区根岸5-4-3
	埼玉			
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮 S.C.	(048)654-5241	330	大宮市東大成町2-658-1
川崎 S.S.	(0485)53-5105	361	行田市城西2-7-39ツインハイイツ石山B	
川越 S.S.	(0492)42-4496	350	川越市小室491-1	
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113	東京都文京区本郷3-14-7ビクター本郷ビル4F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜 S.C.	(045)651-0403	231	横浜市中区筋町1-3-1
	横須賀 S.S.	(0468)34-9261	239	横須賀市久里浜6-4-1
	川崎 S.S.	(044)975-1879	216	川崎市宮前区南平台3-2(第2石原ビル)
	平塚 S.C.	(0463)23-2687	254	平塚市老松町4-9(木村ビル)
	小田原 S.C.	(0465)24-0681	250	小田原市浜町4-1-12
	相模原 S.S.	(0427)76-2052	229	相模原市古淵3-7-4
	静岡			
静岡	静岡 S.C.	(054)282-4141	422	静岡市曲金6-5-28
	沼津 S.S.	(0559)22-1557	410	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053)421-3441	435	浜松市北島町785

都府県名	拠点名	TEL	☎	所在地
東海・北陸				
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	481	西春日井郡西春町九ノ坪鴨田121-1
	三河 S.S.	(0564)26-1005	444	岡崎市井ノ口町字河原西31
	豊橋 S.S.	(0532)64-0815	440	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058)274-1947	500	岐阜市宇佐南3-1-28
	三重 S.S.	(0593)52-0841	510	四日市市堀木2-15-2
富山	津 S.S.	(0592)29-7780	514	津市大字藤方485-18
	富山 S.C.	(0764)25-2397	930	富山市総曲輪4-3-5
石川	金沢 S.C.	(076)231-5242	920	金沢市長土塚2-1-27
	福井 S.S.	(0776)53-6916	910	福井市西開3-211
近畿				
滋賀	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	滋賀 S.S.	(0775)82-5812	524	守山市西気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)304-5731	532	大阪市淀川区田川2-4-28
京南	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都 S.C.	(075)313-3189	600	京都市下京区七条御所の内北町91
京北	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	福知山 S.S.	(0773)22-8664	620	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)304-5731	532	大阪市淀川区田川2-4-28
奈良	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良 S.S.	(07442)4-6271	634	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)304-5731	532	大阪市淀川区田川2-4-28
大阪	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪南 S.C.	(06)768-5489	543	大阪市天王寺区小橋町10-16
大阪	堺 S.C.	(0722)54-2881	591	堺市百舌鳥梅町3-21-2 伊勢ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
和歌山	業務機器 C	(06)304-6715	532	大阪市淀川区田川2-4-28
	【サービス関連全て】のご相談窓口			
和歌山	和歌山 S.S.	(0734)72-6799	640	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S.	(0739)22-9914	646	田辺市文里1-19-18
兵庫	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪 S.C.	(06)304-5731	532	大阪市淀川区田川2-4-28
兵庫	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸 S.C.	(078)252-0562	651	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫	明石 S.S.	(078)924-1104	673	明石市西明石北町3-12-9 小西ビル1F
	【サービス関連全て】のご相談窓口			
兵庫	姫路 S.S.	(0792)34-3833	670	姫路市中地南町11-1
	中国			
岡山	岡山 S.C.	(086)243-1566	700	岡山市西古松西町8-23
	広島 S.C.	(082)243-9839	730	広島市中区光南3-9-17
広島	福山 S.S.	(0849)31-6984	721	福山市南蔵王町3-5-15
	呉 S.S.	(0823)74-9364	737	呉市古新開2-17-32-102
山口	山口 S.C.	(0839)73-3708	754	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834)27-1331	745	徳山市野上町2-3-35
山口	下関 S.S.	(0832)51-1040	751	下関市龍野町2-14-23
	四国			
香川	高松 S.C.	(0878)66-1200	761	高松市田村町205-1
	徳島 S.C.	(0886)22-7387	770	徳島市沖津2-37
高知	高知 S.S.	(0888)82-0546	780	高知市高須新町4-143
	松山 S.C.	(089)923-0372	791	松山市中央1-4-12
愛媛	宇和島 S.S.	(0895)20-1018	798	宇和島市坂下津甲40-40
	新居浜 S.S.	(0897)67-1030	792	新居浜市松神子2-2-25
九州・沖縄				
福岡	福岡 S.C.	(092)431-1261	812-91	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.C.	(0942)39-3495	830	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093)921-3981	802	北九州小倉北区三萩野2-9-3
	筑豊 S.S.	(0948)29-1146	820	飯塚市片島2-22-27
佐賀	佐賀 S.S.	(0952)26-8785	840	佐賀市本庄町大字袋265-1
	長崎 S.C.	(0958)62-5522	852	長崎市城山町9-13
大分	佐世保 S.S.	(0956)33-5568	857-11	佐世保市木風町1467-2
	大分 S.S.	(0975)43-1422	870	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本 S.C.	(096)353-4536	961-41	熊本市近見町1218-1
	宮崎 S.S.	(0985)24-5401	880	宮崎市鶴島町3-59
宮崎	延岡 S.S.	(0982)35-7077	882	延岡市惣領町24-3
	鹿児島 S.C.	(099)267-3572	891-01	鹿児島市小松原2-23-28
沖縄	沖縄 S.C.	(098)898-3631	901-22	沖縄県豊後市真志喜1-13-16
	山陰			
島根	山陰ビクター販売(株) サービスセンター (松江・米子担当)	(0852)31-8900	690	松江市西川津町1484-3
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693	出雲市今市町854
鳥取	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697	浜田市長沢町671-1
	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680	鳥取市富安2-45

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。 0997

●略号について S.C.はサービスセンターの略称です。 S.S.はサービスステーションの略称です。

ほ知してあげて

主な仕様

一本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

〈CDプレーヤー部〉

型式 コンパクトディスクデジタルオーディオ
 信号読み取り方式 非接触光学式読み取り
 (半導体レーザー使用)
 エラー訂正方式 CIRC
 チャンネル数 2チャンネル
 周波数特性 20~20,000Hz \pm 1dB (EIAJ)
 ワウ・フラッター 測定限界以下 (EIAJ)

〈チューナー部〉

受信周波数 FM: 76.0~108.0MHz
 AM: 531~1,629kHz
 アンテナ FM: ロッドアンテナ
 AM: 内蔵フェライトバーアンテナ

〈テープレコーダー部〉

トラック方式 コンパクトカセット・ステレオ
 録音方式 交流バイアス
 消去方式 交流消去
 ヘッド 消去(2ギャップフェライト) }
 録音・再生(ハードパーマロイ) }
 コンビネーション×1
 早巻時間 約130秒(C-60)
 周波数範囲 ハイポジションテープ
 : 60~14,000Hz (EIAJ)
 ノーマルテープ
 : 60~12,500Hz (EIAJ)

〈タイマー部〉

タイマー型式 1日1動作 (オン・オフタイマー)
 時計表示 24時間表示
 スリープタイマー 30、60、90、120分

〈共通部〉

スピーカー フルレンジ : 8cm(×2)、4Ω
 スーパーウーハー: 16cm(×2)、4Ω
 入力端子 MIC(×1)、1.6mV(-56dBV)
 適合インピーダンス200Ω~2kΩ
 AUX(1)、300mV/47kΩ
 出力端子 OPTICAL OUT(×1)、-21dBm~
 -15dBm
 PHONES(×1)、12mW/32Ω
 適合インピーダンス16Ω~1kΩ
 実用最大出力 5W+5W(EIAJ/DC)
 ウーハー: 15W+15W(60Hz、
 EIAJ/DC)

電池持続時間

使用乾電池	EIAJ録音時	EIAJ再生時
単1形マンガン乾電池	約4時間	約1時間
単1形アルカリ乾電池	約8時間	約4時間

電源 AC100V(50/60Hz共用)
 DC15V(単1形乾電池×10使用)
 DC12V(別売りのカーアダプター
 CA-R1201J使用)
 消費電力 電源入(ON)時44W
 待機(STAND BY)時1.4W
 最大外形寸法 幅690×高さ239×奥行296mm(EIAJ)
 質量 約9.5kg(電池なし)
 約10.6kg(電池含む)

●EIAJは日本電子機械工業会規格に定められた測定方法による数値です。

付属品

- ・リモコン (RM-RXVX70)1
- ・単3形乾電池 (リモコン動作確認用)2
- ・電源コード (長さ1.5m)1
- ・ショルダーベルト1

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理の依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。
 転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

●お買い物相談や製品についての全般的なご相談

お客様ご相談センター
 東京…☎(03)5684-9311
 〒113 東京都文京区本郷三丁目14番7号 ビクター本郷ビル
 大阪…☎(06)765-4161
 〒543 大阪市天王寺区小橋町10番16号 大阪ビクタービル

●修理などのアフターサービスに関するご相談

〈☞ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。〉

 
日本ビクター株式会社

オーディオ事業部

〒371 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1 ☎ダイヤルイン(027)254-8952